



*Tradition & Creativity  
Since 1886*

# KYORITSU GIRLS'

共立女子中学高等学校

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

2027

School Guidebook

III [資料篇]

DATABOOK

ENCOUNTER THE MOST OPPORTUNITIES



## 「誠実・勤勉・友愛」の校訓のもと、 時代を超えて“輝き、翔ばたく女性”へ

「持続可能な社会」「男女共同参画社会」のよき担い手として、また一人ひとりが心豊かな人生を歩むために、本校では以下のような「育てたい生徒像」を教育目標として掲げました。

「誠実・勤勉・友愛」の校訓のもと、時代を超えて“輝き、翔ばたく女性”

中高6年間の教育を通じて、将来どのような場所・場面においても、輝き、翔ばたくことができる女性を育てること、それこそが本校の伝統に沿った教育の使命であると考えています。

生徒全員が6年間で「誠実」「勤勉」「友愛」の徳性を身につけ、「周囲と協調しながら個性を発揮」しつつ、「自立を志向し、社会に貢献」できる女性に育つよう、教職員一同努力して参ります。

## 教育改革で求められる

### 「思考力」「判断力」「表現力」は 共立の中で育まれる力

先行き不透明な大学入試改革や、総合型選抜(旧 AO入試)・学校推薦型選抜(旧 推薦入試)の増加などを不安に感じていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。たしかにAIの発達により、ただ知識を多く蓄積しているだけでは評価されない時代になってきています。今後、求められるのは人間にしか持ち得ない「思考力」「判断力」「表現力」。これらは受験科目だけに特化していない、共立のリベラルアーツの中でこそ育まれる力です。さらに本校の1学年320人の中、全員が「権限によらないリーダーシップ」を発揮することで、社会に前向きな変化を起こせる礎を築きます。

学習と生活関連	P2~27
募集要項・入試関連	P28~35
PTA・安全管理・通学圏関連	P36~38



## 【学習と生活】

### 〔学習計画&進学指導〕

■カリキュラム—1：教育課程とコース編成	P3, 4
■カリキュラム—2：各教科の特色	P5~16
■進学支援&大学合格実績	P17, 18
■グローバル教育	P19, 20
■海外大学進学推薦制度・長期休暇講座	P21
■学習・進路 Q&A	P22

### 〔学校生活〕

■生活時間・制服・教職員データ	P23
■健康・心の相談体制	P24
■部活動	P25, 26
■学校生活 Q&A	P27

# 4+2 システム

**【前半4年間】 ●基礎力を育てる** 主体的な学習姿勢を作り上げ、学び続けることと、将来像を描き出すための多様な啓発を実現していくために、各教科をバランスよく配しています。本質を見つめた深みある授業が、「全てに一生懸命な共立生」、「大志を抱く共立生」を育てていきます。また、毎年クラス替えを行い、様々な生徒や教員と出会うことで、多様な価値観を学びます。

**【後半2年間】 ●実践力を育てる** 高2からは、進学志望分野・学部徐々に焦点を絞り込んだ学習が行えるよう、文系、理系の2コース制を敷いています。そして高3では、更に国公立文系、私立文系、理系の3コースに分かれます。それぞれの志望校・学部の受験科目にあわせて履修が行えるよう、選択科目を多く設定し、より高いレベルの志望校合格を目指した受験体制を整えています。  
※大学入試や社会状況の変化にともない、生徒の志望や学力にも変化が生じます。本校ではそれに合わせて最適な環境をつくるため、カリキュラムを調整することがあります。



**●習熟度別授業**  
本校では一人ひとりの理解度に合わせた授業を行っています。そのため複数科目で数段階の習熟度別授業編成を展開しています。

**●Kyoritsu Study Room (自習室)**  
有料にはなりますが、下校時刻の後も20時まで学習することができる施設があります。常駐するチューターに質問もできる体制を整えています。

**●コースの目的と概要**  
**高 2**

**文系対応コース**  
文系科目に重点を置いて学びます。私立文系だけでなく、国公立文系や数学が必要な社会科学系学部に対応できるよう、数学や理科なども選択することができます。

**理系対応コース**  
文系科目を少なくし、理系進学希望者が学ぶべき科目を多く履修できるように設定されたコースです。

**高 3**

**国公立文系コース**  
文系科目以外にも理数科目が履修できるように設定されたコースです。(数学の演習が必要な私立文系にも対応可)

**私立文系コース**  
文系進学希望者が個々の志向に合わせて必要な科目を履修できるように設定されたコースです。

**理系コース**  
理系進学希望者が個々の志向に合わせて必要な科目を履修できるように設定されたコースです。

●週間授業時間数(2024年度入学生の6年間教育課程予定) ※太字は必修科目を表す ※下線の科目は学校設定科目

	中1	中2	中3
国語 (うち書写) (うち国語表現)	4.5 (0.5) (1)	5 (1) (1)	6 (1) (1)
社会	地理	2	2
	歴史	2	2
	公民	・	・
数学	5	5	6
理科	理科1	2	2
	理科2	2	2
音楽	2	1.5	1
美術	2	1.5	1
保健体育	3	3	3
技術・家庭	2	2	1
英語(うち会話)	5.5 (1)	6 (1)	7 (1)
道徳／礼法	1	1	1
特別活動	1	1	1

高1	
現代の国語	3
言語文化	2
歴史総合	2
数学II	4
数学B	2
物理基礎	2
化学基礎	2
生物基礎	2
体育	2
保健	1
芸術I (音・美・工・書)	2
英語コミュニケーションI	4
英語論理・表現I	2
英会話	1
家庭基礎	2

高2			
【文系】		【理系】	
公共	2	公共	2
地理総合	2	地理総合	2
体育	2	体育	2
保健	1	保健	1
論理国語	3	論理国語	3
古典探究	5	古典演習	2
日本史探究	5	数学C*	2
世界史探究	5	数学演習B*	4
英語コミュニケーションII	4	物理	4
英語論理・表現II	2	生物	4
英会話	1	化学	4
英語演習	2	英語コミュニケーションII	4
化学生物基礎演習A	2	英語論理・表現II	2
家庭実践	2	英会話	1
芸術II(音・美・工・書)	2	共立探究実践	1
中国語I	2		
フランス語I	2		
食物			
数学C(2)*			
数学演習A(2)*	4		
化学			
生物			
共立探究実践	1		

高校の「総合的な探究」  
1年では、さまざまな探究スキルを活かし、自身の興味関心を深め、将来の学習につなげる活動を行います。2年では修学旅行をテーマに地域の文化や社会について現地での探索をもとに掘り下げる活動、3年では多様な学習や大学について学ぶことで、自分に合った進路実現の可能性を広げる活動を行います。なお、「総合的な探究」は平常の授業時間に組み込まず、不定期の授業あるいは休暇中の自宅学習時間等を活用して行います。  
(※なお、高校2年の「共立探究実践」は自由選択科目で、全員が共通して履修する「総合的な探究の時間」には含まれません。)

高3			
【国公立文系・私立文系】	【私立文系】	【理系】	
体育	3	体育	3
現代文講読	2	現代文講読	2
古典講読	2	古典講読	2
英語コミュニケーションIII	4	英語コミュニケーションIII	4
英語論理・表現III	2	英語論理・表現III	2
情報I	2	情報I	2
国語表現演習	2	国語表現演習	2
古典特講	2	古典特講	2
日本史応用探究(4)	4	地理探究	4
世界史応用探究(4)	4	日本史応用探究	4
数学特演(4)	4	世界史応用探究	4
地理探究	4	日本史論述演習	2/0
数学特講	3	世界史論述演習	2/0
化学特講	3	地理演習	2/0
生物特講	3	美術演習	2/0
※2科目選択する場合の組み合わせ →理科2科目の組み合わせは不可		倫理	2/0
化学生物基礎演習B	2	政治・経済	2/0
化学実験	2	中国語II	2/0
生物演習	2	フランス語II	2/0
日本史論述演習	2/0	芸術III(音・美・工・書)	2/0
世界史論述演習	2/0	被服	2/0
地理演習	2/0	基礎英文法	2/0
美術演習	2/0	選択英会話	2/0
倫理演習	2/0	英語総合演習	2/0
政経演習	2/0	食物	2/0
英語総合演習	2/0		
選択英会話	2/0		
食物	2/0		

中学の「総合的な学習の時間」は、「リーダーシッププログラム」でのレポート作成やプレゼンテーションを通して行っています。



## 表現力豊かで、論理的思考のできる女性へと導きます

2018年度から中学で週1時間、独自の「国語表現」を設置しています。クラス2分割の少人数制で、ICTも交えつつ、論述・創作・発表・討論などに取り組み、記述・口述双方の表現力の育成を図ります。これは、刻々と変化する大学入試への対策にもつながります。例えば、原稿用紙、罫線や方眼ページのある『表現ノート』とiPadを併用し、手紙、企画書、パンフレット、新聞、絵本、紀行文、作文、韻文、ドラマ、プレゼンテーション、ディベート等(年度ごと内容は異なります)、多様な表現活動を展開しています。

夏休みには課題図書を読んだ全員が読み、校内読書感想文コンクールを行っています。優秀作品は表彰され、国語生徒作品集『ともだち』に掲載されます。また、著者をお招きした講演会も開催しています。

プレゼンテーション能力向上のための取り組みとしては主に中学のブックトーク、講堂や教室でのスピーチ、高等学校のビブリオバトルがあります。その他、高等学校では小論文の実践的な指導が行われ、大学入試にも対応できる高い表現力を目指します。

語彙の習得のための漢字テストは、年間実施回数を10回に増やし、よりきめ細やかな指導を行います。また、漢字検定の校内準会場受験の機会を年2回設けており、高校卒業までに準2級の合格を目標にします。また、文法は中学1年からオリジナルテキスト『口語のき



まり』によって口語のしぐみを徹底して学び、古典文法の学習に備えます。

古典においては中学1年からオリジナルテキスト『古典』によって、古文・漢文を学習します。仮名遣いや辞書の引き方から始め、連句ゲームや辞書を使った遊び、百人一首大会などを含め、楽しみながら古典の導入を行います。

中学3年からは現代文と古典に分かれて授業が行われます。古典では高校レベルの教材も扱いながら、テーマ毎に読解力を高めまします。現代文では重要キーワード集なども併用し、抽象的文章への対応力を養います。

このように、生徒の能力に合わせて基礎力養成の徹底を図り、その後の応用力育成に、より多くの時間をかけられるようにしています。そして、高校2年終了時まで、近代日本の問題や自己存在に関わる問題から現代社会までのテーマを評論・小説両面から学びながら、高校課程の修了と同等の学力をつけ、高校3年では演習を多く取り入れ、論理的思考力や文章理解力を一層高めることによって、大学受験はもとより社会生活や大学の専門教育にも充分に対応できる国語力を養います。

## 自らの力で問題解決に取り組むための基礎力育成を目指します

本校の数学科では、中高6年間で三段階に分け、生徒の発達段階に応じた指導をしています。中学1・2年は中高一貫教育に適した教材である『体系数学』(数研出版)を中心に用い、授業を展開します。

中学1年の段階では、高校数学を視野に入れながらも、数学に対する興味・関心を高めるために、より身近な事象を題材とした授業を実践していくように心がけています。中学1・2年生は5時間の授業を「代数(計算)」、「幾何(図形)」に分け、生徒個々の学力に応じて、ホームルームの2クラスを3段階に分けた少人数・習熟度別授業を実施します。将来の進路も視野に入れ、その土台となる基礎学力を重視しながら、中学2年までに中学3年分の内容を学習し終えます。また、発展的な内容を取り扱ったり、知的好奇心を高めたりするための補講や、基礎事項を定着させるための補習も行っています。

中学3年からは高校の内容に入ります。中学3年、高校1年の段階では、大学受験を考慮した進路に意識を向け、それに見合うだけの実力をつけるための基礎固めを行います。

高校2年からは、文系・理系のコースに分かれます。国公立文系コースでは入試問題を踏まえた問題演習の授業を行います。理系コースでは数学Ⅲまたは、数学ⅡAⅡBの問題演習を行い、高校2年生までに中高6年間の全ての内容を学習し終えます。高校3年では、文



系・理系のそれぞれの進路に合わせた徹底的な入試問題演習を行い、大学入試に十分に備えています。

本校の数学科では、予備校・塾に依存することなく、進学校としても成果を出せる教科教育を実践し、自らの力で問題解決に取り組むことのできる力の育成を目指していきます。

学年	基礎学力養成期		基礎力充実・応用力発展期		問題発見・解決能力養成期			
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年		
目標	日本語を適切に表現し正確に理解する能力を高める。		現代の文章及び古典の文章を通して、日本語を的確に理解する。		古今の文章を読み味わい、日本語そのもの、またそれを使う我々自身について考える態度を育てる。			
内容及び方法	現代国語現代文	○自習教材(ワークブック)によって予習・復習を確実にさせる。 ○口語文法を中学1年終了までに習得。 ○文章の基礎的な読解の方法習得。	○問題演習を行い、論理的な読解力を養う。 ○様々なジャンルの文章に触れ、表現の多様性・可能性について考えさせる。 ○著名な作品に親しみ、文学史的視点を持たせる。	○概念語や現代用語の知識を拡充させ、現代の状況を考察させる。 ○近・現代文学の提示する問題を考えさせる。 ○各分野の評論を通し現代社会の問題への分析力・考察力を高める。	○自主制作の学習プリントを使用し、高校2年終了までに文語文法を習得。 ○古典作品から、伝統的な美意識・価値観について考えさせる。 ○問題演習形式で既習の知識を再確認し、古典作品や現代文を読む力・鑑賞する力を育成する。 ○少人数習熟度別授業	○読書記録や朝の「読書タイム」による読書の奨励。 ○ビブリオバトルによるプレゼンテーション能力の向上。 ○優秀作品の生徒会機関誌への掲載。 ○要約作業からスタートしての表現・小論文指導。 ○自己分析からの自己PR、志望理由書作成。		
	古典	○中学1年からオリジナルテキスト「古典」によって、古典の基礎を学習する。	○自主制作教材を使用し、古典文学を読み解く力を養う。 ○高校1年終了時に助動詞まで完全習得(古文)。 ○訓読のルールから句法の知識の拡充(漢文)。 ○副教材を使い、古典の世界や古語、漢文の句法の知識を培う。 ○高1から習熟度別授業	○自主制作の学習プリントを使用し、高校2年終了までに文語文法を習得。 ○古典作品から、伝統的な美意識・価値観について考えさせる。 ○問題演習形式で既習の知識を再確認し、古典作品や現代文を読む力・鑑賞する力を育成する。 ○少人数習熟度別授業	○読書記録や朝の「読書タイム」による読書の奨励。 ○ビブリオバトルによるプレゼンテーション能力の向上。 ○優秀作品の生徒会機関誌への掲載。 ○要約作業からスタートしての表現・小論文指導。 ○自己分析からの自己PR、志望理由書作成。	○漢検4級合格を目指す。 ○常用漢字1600字程度。 ○漢字テスト年10回実施。	○漢検3級、準2級合格を目指す。 ○全ての常用漢字・人名漢字。	○3000字以上の漢字・動植物名・外国名。 ○評論・小説語彙の定着を目指す。
	読書表現	○「表現ノート」による推薦図書読書・原稿用紙の使い方指導。多様な表現方法の習得。 ○朝の「読書タイム」による読書の奨励。 ○読書感想文コンクールにおける課題図書読書・表現指導。 ○作文添削指導。外部作文コンクール参加の奨励。 ○国語生徒作品集『ともだち』発行。 ○ブックトークによるプレゼンテーション能力の向上。 ○課題図書作家講演会	○修学旅行の紀行文指導。 ○「表現ノート」や朝の「読書タイム」による読書の奨励。 ○読書・LHRでの討議と関連させつつの表現指導。 ○優秀作品の生徒会機関誌等への掲載。 ○ブックトーク、ビブリオバトルによるプレゼンテーション能力の向上。	○読書記録や朝の「読書タイム」による読書の奨励。 ○ビブリオバトルによるプレゼンテーション能力の向上。 ○優秀作品の生徒会機関誌への掲載。 ○要約作業からスタートしての表現・小論文指導。 ○自己分析からの自己PR、志望理由書作成。	○漢検4級合格を目指す。 ○常用漢字1600字程度。 ○漢字テスト年10回実施。	○漢検3級、準2級合格を目指す。 ○全ての常用漢字・人名漢字。	○3000字以上の漢字・動植物名・外国名。 ○評論・小説語彙の定着を目指す。	
	漢字語彙	○漢検4級合格を目指す。 ○常用漢字1600字程度。 ○漢字テスト年10回実施。	○漢検3級、準2級合格を目指す。 ○全ての常用漢字・人名漢字。	○3000字以上の漢字・動植物名・外国名。 ○評論・小説語彙の定着を目指す。	○漢検4級合格を目指す。 ○常用漢字1600字程度。 ○漢字テスト年10回実施。	○漢検3級、準2級合格を目指す。 ○全ての常用漢字・人名漢字。	○3000字以上の漢字・動植物名・外国名。 ○評論・小説語彙の定着を目指す。	
書写	○文字を正しく書く能力を身につけさせるとともに書写力を生活に役立てる態度を育てる。 ○俳句を書きながら、芸術的な仮名の要素をとり入れ、高校芸術「書道」への移行を行う。							

学年	数学への興味・関心を高め、考察態度を培う段階		数学への探求心を培い、考察態度を育む段階		数学をより深く発展的に考察する態度を高める段階	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	日常の事象から数学を発見する活動を通して数学のよさを感じ、数学の有用性を認識するとともに日常の問題の解決に数学を活用する態度を培う。		数学を一般化することから数学の有用性を感じ、数学の見方や考え方を通して、様々な問題を数学的に考察するとともに、これを的確に活用する態度を育む。		より高度な内容を学習し、数学を一般化することの意義を見いだすとともに、これを発展的な様々な問題に適用する態度を養う。	
内容及び方法	●中学数学1年 ・正の数と負の数 ・文字と式 ・1次方程式 ・比例と反比例 ・平面図形 ・空間図形 ・不等式(高校)	●中学数学2年 ・確率 ●中学数学3年 ・多項式 ・平方根 ・図形と相似 ・線分の比と計量 ・2次方程式 ・関数 ・三平方の定理 ・円(高校)	●高校数学1年 ・数と式 ・複素数と方程式 ・2次関数とグラフ ・式と証明 ・集合と論理 ・確率 ・図形と計量 ・データの分析	●高校数学2年 ・図形と方程式 ・三角関数 ・いろいろな式 ・平面上のベクトル ・空間のベクトル ・数列 ・微分法 ・積分法 ・統計的な推測	●高校数学3年 ・極限 ・微分法 ・微分法的应用 ・積分法 ・積分法的应用 ・平面上の曲線 ・複素数平面	●数学ⅡAⅡB演習 ・数学Ⅲ演習
	○小学校との関連に目を向け算数教育の現状を踏まえ、現実的な事象を数学的に捉えさせる。 ○生徒の思考を重視した問題解決型の授業展開を目指し、数学への興味・関心を高める。	○論理的な考え方や関数的な見方を通して、現実的な事象をモデル化、単純化、抽象化し、様々な問題を、数学を使って解決できるよさを感じさせる。	○これまでに培われた数学的要素を発展させ、一般化することの意義を理解させる。 ○高等教育に対応できる能力を育てる。 ○中等教育の最終段階として、大学受験にも対応できる知識・技能などを確実なものにする。	○数学的な活動を重視し、具体から抽象へと、徐々に数学的な概念を発展させていく。 ○日常の授業において、できるだけ生徒の身近な事象を題材として、生徒の興味・関心を高める。 ○単なる知識の伝達や技能の習得だけでなく、自力で問題を解決できる力をつけられるような授業形態を心がけている。 ○問題の解決過程において、「数学化」や「検証」も大切に、数学を日常生活に役立たせることができると生徒に意識させる。 ○教科書の内容を深めたり、発展的に考察する態度を高め、高等教育にも対応できるようにする。 ○放課後や長期休み講座で、生徒の習熟度に応じたハイレベルな補講や授業の補習などの指導を行う。 ○中学1年次から習熟度別授業を行い、高校3年次初期まで教科書すべてを終了する。 ○高校3年次は、大学受験の様々な科目パターンに対応するために、コースに対応して多様な演習授業を行う。内容は入試問題演習を中心とする授業を行い、実践力を養う。		

## 多様なプログラムで バランスのとれた英語力を 育成します

本校の英語科では中高6年間を前期・中期・後期と3つに分け、生徒の発達段階に応じた指導目標を掲げています。

前期では視聴覚教材を多用した「音声による導入」、英語を実際に使う場面を想定した「言語活動」などを通して「聞く」「話す」という音声を重視した発信型の英語の基礎力を身につけさせます。中学1年・2年次では発信する機会を増やし、よりきめ細かい指導を実現するために「少人数制指導」を実施していますが、1年次途中からはさらに習熟度を加味して授業を行います。

中期では生徒の論理的な思考の発達にあわせ、サイドリーダーによる「長文精読」や英文法の体系化を図る「高校内容先取り学習」を行い、読解力や作文力、つまり「読む」「書く」という技能を育成します。また、「少人数制習熟度別授業編成」により効果的な学習事項の定着を図っています。

後期では前期・中期で育んだ英語力を総合的に伸ばします。大学入試問題演習を中心に生徒の進路を見据えた発展的な指導を行います。クラスは「少人数制習熟度別授業編成」とし、読解は精読・速読・多読の指導を徹底し、希望者には外部業者による「英作文添削講座」および外国人講師や日本人英語教員による「英作文添削指導」を実施しています。文法は入試問題を通して実践的な実力を身につけさせています。いずれ



も難関大学に合格できるだけの学力が身につくように指導しています。

中学1年次から外国人講師による「英会話」の授業が少人数制で実施され、スピーチやグループ発表などの表現活動を実践しています。また全員が授業とは別に、自宅で海外の外国人講師と1対1で会話する「オンライン英会話」に取り組み、さらに希望者はイングリッシュシャワー（外国人講師による自己表現訓練講座）にも参加できます。

「Language Square」では、放課後、外国人講師が常駐し、生徒の質問に答えたり、独自のレクチャーを行うこともあります。

また、生徒の発達段階に応じた指導の工夫とともに、「英単語テスト」「TOKYO GLOBAL GATEWAY研修」「長期休暇海外研修」「ターム留学」など多様なプログラムで生徒の総合的な英語力を伸ばします。

このように、社会で役に立つ英語力と異文化理解の態度・姿勢が身につくよう、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの技能をバランスよく育成することを念頭において指導しています。

学年	前期		中期		後期	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	○外国語を学ぶ楽しさを体験させる。 ○「聞く」「話す」ということに重点を置く。		○英語力を総合的に高め、大学入試に向けてスムーズに対応できるように指導する。		○多彩な演習授業により、大学入試に十分対応できる実力を身につけさせる。	
授業形態	少人数制授業 (年度途中より習熟度を加味)		一斉授業  少人数制習熟度別編成授業			
語彙指導	英単語テスト					
	1000語	2000語	3000語	4000語	5000語	
文法指導	中学履修範囲修了  NEW TREASUREによる指導		入試基礎事項をすべて学習  NEW TREASUREなどによる指導		入試英文法演習	
読解指導	NEW TREASUREによる指導					
	サイドリーダー(基本)による指導		サイドリーダー(応用)による指導		入試長文演習	
自己表現活動	海外の外国人講師による少人数制英会話 (家庭学習として「オンライン英会話」によるレッスン)		外国人講師による少人数制英会話			
	自己紹介・身のまわりの人の紹介	スキット・スピーチ・Show&Tellなど		ディベート・ディスカッション		
資格試験及び特別活動	英検4～3級	英検3～準2級	英検準2～2級		英検準1級(TOEFL・TEAP等対策)	
	GTEC for students					
	イングリッシュシャワー(基本)	イングリッシュシャワー(応用)	TOKYO GLOBAL GATEWAY研修		ショートターム留学派遣(2ヶ月) ロングターム留学派遣(10ヶ月)	
	交換留学受入					

## 社会や歴史への深い理解を ICTを活用しながら 育てています

中学3年間において、世界や日本の地理・歴史・公民の事象にできるだけ多く接し、公民的資質を養うとともに、社会科の基礎力定着を図ります。中学の段階ではオリジナル教材の「サブノート」も扱い、高校での範囲や項目の一部を取り込んで、学習内容の充実を図っています。また、高校1年では歴史総合、高校2年では地理総合・公共を全員が学ぶことで日常生活の中での情報を的確に判断・選択できる能力を育むとともに持続可能な社会に向けて考えることを目標としています。

高校2年からはコース制に対応して、大学受験を意識した科目の履修が始まります。受験科目としては世界史・日本史が中心となりますが、多様化する受験パターンに対応できるよう世界史・日本史・地理・政経・倫理などが選択科目として設置されます。文系コースの場合、世界史探究・日本史探究に加え、「論述演習」を設置することで、国立大学はもちろん、難関私立大学の論述問題にも対応できる力を養います。国立大学文系学部の地歴・公民の2科目受験、また理系では大学入学共通テストにも充分に対応できるカリキュラムとなっています。



学年	前期		中期		後期	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	社会科			地歴公民科		
	<b>【地理分野】</b> ○地図や資料を活用し、世界各国と日本の人々の生活を理解させる。 ○環境や資源の重要性を考えるとともに、世界各国の社会的変化にも着目させる。  <b>【歴史分野】</b> ○様々な出来事や人物、時代の前後関係などを明らかにして、今日の社会がつけられてきた過程を理解させる。			○「ニュース報告」を通して時事問題を含めた社会事象を考察する態度を育てる。 ○政治・経済の基本を学び公民的資質を身につける。		
内容	<b>●地理分野 (2)</b> [わたしたちの地球] [世界の国々] [世界と日本の結びつき]		<b>●地理分野 (2)</b> [日本の国土] [日本の産業] [日本の諸地域]		<b>●公民分野 (3)</b> [人権の尊重] [日本国憲法の原則] [基本的人権の尊重] [民主主義の政治] [くらしと経済] [世界平和の実現] [地球時代]	
	<b>●歴史分野 (2)</b> [人類の誕生と古代社会] [中世社会の成立と動乱] [近世社会の成立と発展]		<b>●歴史分野 (2)</b> [近代国家の成立とアジア] [二度の世界大戦と日本] [現代の日本と世界]		<b>●歴史総合 (2)</b> [近代化と私たち] [国際秩序の変化や大衆化と私たち] [グローバル化と私たち]	
	<b>●地理総合 (2)</b> <b>●公共 (2)</b> <b>●世界史探究 (5)</b> <b>●日本史探究 (5)</b>		<b>●歴史総合 (2)</b> <b>●公民分野 (3)</b> <b>●世界史探究 (5)</b> <b>●日本史探究 (5)</b>		<b>●地理総合 (2)</b> <b>●公民 (2)</b> <b>●世界史探究 (5)</b> <b>●日本史探究 (5)</b>	
	<b>●世界史応用探究 (4)</b> <b>●日本史応用探究 (4)</b> <b>●地理探究 (3)</b> <b>●倫理 (2)</b> <b>●政治経済 (2)</b> <b>●各「演習」(2)</b> 世界史論述 日本史論述 地理 倫理 政経					

## 科学的な思考法を学び 客観的・定量的な見方を 育てます

本校の理科では、「中高6年間を通じて柔軟な科学的思考力を育て、自ら問題を解決する力を身につける」ことを目標に指導を行っています。また、生徒の発達段階に合わせたカリキュラムに基づき授業を展開しています。

中学1・2年の2年間は、基礎学力を充実させる期間です。中学校レベルの内容全般について知識を整理し、実験や観察を多く取り入れながら、科学的な考え方の基礎を身につけます。各学年で理科1分野(物理・化学分野)、理科2分野(生物・地学分野)に分けて授業を展開します。

中学3年・高校1年の2年間は、高校理科の物理・化学・生物・地学各科目の基礎を習得する期間です。また、多様な進路選択に適應できるよう、実験とその考察を通して科学的な思考力を身につけさせ、基礎学力を完成させます。

高校2・3年の2年間は、大学受験に向けて応用力を身につける期間です。多様化し、変動する入試に対応できるように、科目選択に幅を持たせ、様々な実験や問題演習を多く取り入れた授業を展開しています。



中学時から実験を多く取り入れることで確かな知識を身に付け、その知識を使って考察ができるようになることを目標とします。高校3年生の選択授業「化学実験」では1年間(週2時間)全て実験授業とし、教科書に載っている実験をほぼすべて行います。

学年	STEP1 (基礎学力定着期)		STEP2 (基礎学力完成期)		STEP3 (応用力完成期)		
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	
目標・方法	中学理科の教科書内容を習得させ、基礎的内容を定着させる。		高校理科の基礎を習得させ、多様な進路選択に対応できる力をつけさせる。		科目の選択に幅を持たせ、問題演習を多く取り入れ、大学受験に対応する力を完成させる。		
	○実験・観察と日常の授業から、教科書と日常生活における身近な事象とを結び付けることで、科学への興味・関心を高める。		○実験・観察を通して、具体的な内容から自然の原理を理解させ、科学的な概念の定着をはかる。		物理 実験・演習を通じて理解を深め、自然現象を物理法則を使って説明できるようにする。		
	○問題集などを利用して基礎的な計算や思考ができるような授業を行い、基礎力の充実をはかる。		○単元内容の理解度をより深めるため、中学3年次より高等学校の内容を取り入れ、発展的な学習指導を行う。			化学 これまで学んできた化学を自然や身の回りの事象へと広げて系統的に学習させる。	
					生物 生命現象を分子レベルでとらえ、生命の不思議さに関心を持つように指導する。生物と環境との関わりを理解させる。		
内容	物理分野	光・音 いろいろな力 静電気と電流	電流とその利用 物体のいろいろな運動 力の規則性	2力のつりあい 力の合成と分解 運動の法則 エネルギーと仕事 物体の運動(直線運動)	物体の運動(放物運動) 運動の法則 波の性質 熱量保存の法則	光波と干渉 ドップラー効果 運動量保存の法則 円運動 電流と磁場 交流回路	気体の法則 気体の分子運動 熱力学第1法則 粒子性・波動性 〔入試問題演習〕
	化学分野	身のまわりの物質 (物質と温度/気体・水 溶液の性質)	物質のなり立ち 原子構造とイオン 物質どうしの化学変化 化学変化と物質の質量 化学変化とその利用	酸、アルカリとイオン 化学変化と電池 科学技術と人間	物質の構成 (原子の構造、化学結合) 物質の変化 (物質質量、酸・塩基、酸化・還元)	化学結合 気体 溶液 反応速度 平衡 有機化学	無機物質 高分子化合物 〔入試問題演習〕 〔実験〕
	生物分野	植物の特徴と分類 動物の特徴と分類	生物のからだのつくり・ はたらき	生物の成長と生殖 遺伝の規則性と遺伝子	生物の特徴 遺伝子とのはたらき ヒトの体内環境の維持 生物の多様性と生態系	生物の進化 生命現象と物質 生殖と発生 生物の環境応答	生態と環境 〔入試問題演習〕
	地学分野	地表・地球内部のつくりと その変化	天気とその変化	地球と宇宙 自然と人間			

## 理論を理解し 音楽を楽しむことによって 感性を磨きます

まず中学校の3年間で全員が総合的な音楽の基礎をしっかり学びます。その後選択制となる高校で、中学校で得た知識をもとに、より深い理解と感受性豊かな表現を目指した指導をします。

中学校では、歌唱・器楽・鑑賞・理論の4分野を満遍なく学べるようにカリキュラムを組んでいます。歌唱では独唱や重唱、合唱を通して、正しい発声・発音で歌うことだけでなく、曲や歌詞の内容も理解できるよう指導しています。器楽ではアルトリコーダーを取り入れ、主に二重奏で世界の名曲を多数練習することにより、読譜力・表現力を身につけていきます。鑑賞では、教科書の鑑賞曲だけでなく、バロック・古典派・ロマン派・近現代における大作曲家の作品に触れます。理論では、全員が楽譜を読めるようになることを目標に、楽譜の書き方・音の名前・音階・音程・音楽用語などの基礎理論を1・2年生で学んでいきます。学校行事として中学校卒業間近に行われる合唱コンクールでは、生徒たちがそれまでに身につけたすべてを注いで、課題曲・自由曲を歌い、8クラスが優勝を目指します。また、視聴覚教育の一環として、三年に一度の音楽鑑賞会があります。

高校では、歌唱・鑑賞を中心に、楽曲の把握と創造に重点をおいた指導をしています。歌唱では、幅広い分野の世界の名曲に原



語で挑戦します。鑑賞では、ひとつの作品ごとに音楽史や様式に触れ、生徒たちにはその作品の背景や感想などについてレポートすることが求められます。

中学生ではウクレレの実習を行い、楽器のしくみやコードネームも学びます。

学年	前期		中期		後期		
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	
目標	○正しい楽譜の書き方を身につける。	○楽曲のしくみを理解する。 ○楽曲の特徴をつかむ。	○合唱のよさを味わう。 ○音楽に対する総合的な理解を深め、表現の技能を伸ばし、創造的な表現の能力を高める。	○発声の基本を学び工夫する。	○声域の拡張と表現の工夫をする。	○曲想に応じた発声を工夫する。	
	○基礎的な表現の技能を伸ばす。	○幅広い鑑賞の能力を高める。		○世界の音楽に親しみ、歴史の流れをつかむ。	○芸術歌曲を理解する。	○文化的背景と音楽を関連させて理解する。	
	○音楽に興味、関心をもつ。	○音楽理論を総合的に理解する。			○音楽様式と変遷を鑑賞を通して学ぶ。		
内容及び方法	歌唱		<ul style="list-style-type: none"> <li>○正しい呼吸法、正しい発声を身につけ、ことばを大切に、きれいな発声で歌う。</li> <li>○移動唱法による階名唱を十分行うことで、音程とリズムを正確に歌えるようにする。</li> <li>○合唱で、ハーモニーの美しさを味わい、協力して音楽を作り上げていくよさを感ずる。</li> </ul>		中学3年間で総合的に学習したが、選択となる高校では、歌唱・鑑賞を中心に、楽曲の把握と創造に重点をおいた指導をする。		
	器楽		<ul style="list-style-type: none"> <li>○4つの奏法(ノンレガート・レガート・スタカート・ポルタート)を学ぶことで、楽譜の読み方の徹底と、曲にふさわしい表現を工夫する力を育てる。</li> <li>○重奏で、メロディーの重なり、ハーモニーの美しさを感じ取る。</li> </ul>		<b>〔歌唱〕</b> ○古典歌曲からミュージカルまで、世界各国の楽曲について、年代・作詞者・作曲家・音楽形式などを理解して歌う。 ○原語による歌唱も含め、個性溢れる豊かな表現の工夫をする。		
	鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽史に簡単に触れ、楽曲の形式・楽器や声の組み合わせによる響きを理解して聴く。</li> <li>○他教科(地理・歴史・美術など)と関連させた総合学習に発展させる。</li> </ul>		<b>〔鑑賞〕</b> ○音楽史にそって、演奏形態・楽曲の種類だけでなく、楽曲形式まで踏み込んで、曲を理解して聴く。 ○ミュージカルや映画音楽、総合舞台芸術としてオペラ・バレエを取り上げる。 ○各分野の世界的演奏家に親しむ。		
	楽典		<ul style="list-style-type: none"> <li>○正しい楽譜の書き方・読み方を徹底させる。</li> <li>○3年間で楽典の基礎を学ぶ(音名・階名・音階・和音・移調など)。</li> <li>○理論に偏らず、実技や鑑賞との関わりの中で、理解できるようにする。</li> </ul>				

## 創る楽しさ 鑑賞する楽しさを通して 自己を発見します

共立の美術では「古典・現代・美術史」を軸とした6年間を通して育む美術観を目標に、中学・高校それぞれの生徒の成長段階に合わせて内容をきめ細かく組み立てています。その特徴として油絵の古典的技法とICTによる演習といった伝統的技法と現代の表現を統合的に扱っている点が挙げられます。

中学では1年生から本格的な油絵道具や画材を使用して基本的なデッサン力を身につけ、その基礎は2年生・3年生のICTを使った課題にも十分に活かされながら、デザインやアニメーションの制作に取り組み、構成・色彩効果・編集について学びます。

また実技と共に、3年間を通して様々な表現の背景や美術史の流れを概観することを狙いとし、課題ごとに関連する本校独自の資料を豊富に提示したり、近隣の美術館での鑑賞時間を設けたりなど、生徒の意欲を引き出す仕掛けを多く用意していることも特徴の一つとしています。

高校では選択科目となりますが、課題も更に専門的で高次な内容に発展していく一方、彫刻などの立体や版画表現といった新たな領域も加わり、また美術系進学に対応した科目や講座も設けられています。



中高とも美術の幅広い領域からできるだけ多くの表現方法や価値観に触れ、上手・下手の観点で捉えず、自己の探究を目指す創作の過程を重視しており、そのため絞られた課題数で生徒がじっくり取り組めるよう、ゆとりある制作時間の確保を心がけています。そして何より校舎のあらゆるところに芸術家の作品が展示され、日々目に触れることができる環境の中で豊かな心と、自らの人生に美しさを希求する姿勢が育まれることを願っています。

学年	STEP1(基礎・前期)		STEP2(錬成・中期)		STEP3(完成・後期)	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	○幅広い表現及び鑑賞の講義・実技(技法)指導を重ねることで、造形能力を高めるとともに、知性と感性の統合を図り、美術に対する広い視野での見識・能動的な姿勢がもてる豊かな情操を養う。		○観察・想定などを行い、自然物・人工物に対する関心や探求心を高め、創造する能力と態度を育てるとともに、基本的な美術史を理解させ、幅広い芸術観を育成する。			
内容及び方法	○「静物デッサン」(鉛筆) ○油絵画の概説(顔料と溶き油、基底材) ○絵画古典技法演習:「静物画」(油彩・F6) ○鑑賞:「静物に見る西洋美術史」	○絵画混合技法演習:「自画像」(油彩・F6) ○鑑賞:「自画像に見る西洋美術史」	○CG演習:「8秒アニメーション」 ○鑑賞:「様々なアニメーション表現」	○石膏首像デッサン(鉛筆・B3紙) ○自画像デッサン(鉛筆) ○鑑賞:「石膏像に見る西洋美術史」	○デザイン演習:「写真を使った色彩構成」(アクリル絵具・B3紙) ○CG演習:「抽象的ドローイング」	○現代美術演習:「ボックスアート(私の世界)」(木材他混合技法) ○鑑賞:「プレゼンテーション(私の作品について)」
	○自画像デッサン(鉛筆) ○鑑賞:美術館見学(東京国立近代美術館)	○CG演習:「CDジャケットのデザイン」	○細密デッサン(鉛筆) ○絵画古典技法演習:「細密画」(油彩・サムホールキャンバス)	○絵画古典技法演習:「バロック風自画像」(油彩・P10号キャンバス) ○版画技法演習:「版画表現」 ○鑑賞:美術館見学(東京国立近代美術館)	○絵画混合技法演習:「抽象絵画」(油彩他・M20号キャンバス) ○鑑賞:美術館見学(東京国立近代美術館)	○絵画混合技法演習:「細密画(私の理想のお弁当)」(油彩他・F6号キャンバス) ○鑑賞:プレゼンテーション(私の作品について)

## 多様な種目を通して 生涯スポーツの基礎を 身につけます

本校の体育は、バレーボールとダンスを中高一貫の教材とし、生徒が6年間を通して運動を楽しみながら段階的に成長できるカリキュラムを実施しています。自分らしく身体を動かす心地よさを大切にしながら、仲間とともに高め合う経験を重ねていきます。

バレーボールでは、まず「ボールに慣れ親しむこと」を大切にしています。ボールを使った遊びの中で、球技に必要な感覚や基礎を楽しく身につけていきます。さらに、パスやサーブなどの技術の習得に加え、生徒が主体的にチームプレーに取り組めるよう、学習の進め方やルールを工夫しています。仲間と協働しながら課題を解決していく楽しさを実感できるよう、成長段階に応じた環境づくりを行っています。

ダンスでは、基礎的な動きづくりから丁寧に取り組むため、苦手意識のある生徒も安心して参加できます。各学年でテーマを設定し、創作ダンスに挑戦します。自分の思いやイメージを仲間と共有し、作品として形にしていく中で、他者と協働する力を養います。互いの表現を尊重し合いながら一つの作品を創り上げる経験は、自己表現力と他者理解を深める機会となっています。最終的には完成度の高い集団演技へと発展し、特に高校2・3年次に体育祭で披露される学年全体でのダンスは、教員と生徒が一体となって創り上げる本校



の大きな特色となっています。生徒一人ひとりが達成感と自信を得る貴重な機会となっています。

また、バスケットボールやフットサル、ソフトボール、ハンドボール、バドミントン、テニス、卓球など、多様な種目もカリキュラムに取り入れています。さまざまなスポーツを経験することで、自分に合った運動と出会うとともに、基礎的な体力や思考力、協働性をバランスよく育みます。体育祭などの行事も含め、運動を「やらされるもの」ではなく、「自ら楽しむもの」として捉えられることを目指しています。

保健では、変化の激しい現代社会の中で、生涯にわたって健康を維持・向上させていく力を育みます。クラスメイトとの学び合いを通して主体的に課題を見つけ、解決していく力を養います。社会が抱える健康課題や疾病、環境問題などを自分の生活と結びつけて考えることで、生涯にわたって健康を意識した生活を送る力を身につけていきます。

学年	前期		中期		後期	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	○基本的な体の使い方を学び、様々な運動に対応できる基礎体力と協調性を養う。	○基礎技術を向上させ、協調性を持って運動することの楽しさを体感する。	○実戦に必要な技術を習得し、チームプレーについて学ぶ。主体的な活動を通して自己表現力を高める。	○専門的な技術と戦術理解を深める。創造力を発揮し、集団における自己表現の方法について学ぶ。	○専門的な技術と戦術理解をより深める。 ○作品の発表を通してより高度な表現力を身につけ、集団で運動することの楽しさを学ぶ。	○自分の力に応じた目標を立て主体的に運動に取り組む。生涯にわたって運動に親しむ姿勢を身につける。
	○健康とは何かを理解し、健康と生活の関連性について学ぶ。 ○心身の発達に心や体から与える影響について理解を深める。	○生活習慣の健康への影響と健康的な行動選択について学ぶ。 ○交通事故や災害、犯罪から身を守る方法について理解を深める。	○感染症の特徴と、予防するための対策について理解を深め、環境が健康におよぼす影響を学び、健康と環境に関する課題について考える。	○健康課題とそれらへの対策、健康を支える社会づくりなどについて学ぶ。 ○事故や怪我が起きた場合の対処法について理論と実習の両面から学び、実践する態度を養う。	○生涯にわたって健康に生きていくための意思決定・行動選択、社会環境づくりの大切さについて理解を深める。	
科目(は時間数)	体育(2.5) 保健(0.5)	体育(2.5) 保健(0.5)	体育(2.5) 保健(0.5)	体育(2) 保健(1)	体育(2) 保健(1)	体育(3)
	◎バレーボール ◎ダンス ○ラジオ体操 ○バスケットボール ○フットサル ○マット運動 ○体育祭種目練習	◎バレーボール ◎ダンス ○バスケットボール ○フットサル ○マット運動 ○体育祭種目練習	◎バレーボール ◎ダンス ○バスケットボール ○剣道 ○マット運動 ○新体操 ○体育祭種目練習	◎バレーボール ◎ダンス ○ソフトボール ○剣道 ○新体操 ○体育祭種目練習	◎バレーボール ◎ダンス ○ハンドボール ○バスケットボール ○新体操 ○ボール運動 ○体育祭種目練習	◎バレーボール ◎ダンス ○テニス ○新体操 ○バドミントン ○卓球 ○体育祭種目練習
内容(中高貫種目)	○調和のとれた生活 ○心身の発達と心の健康	○生活習慣の健康への影響 ○けがの防止と応急手当	○感染症の予防と健康を守る社会の取り組み ○環境の健康への影響	○現代社会と健康 ○安全な社会生活	○生涯を通じる健康 ○健康を支える環境づくり	

## 身近な生活の中での工夫する力・創造する力を培っていきます

技術・家庭分野の授業の意義と内容は、共立女子学園の歴史に深く関係しています。時代の進展に貢献する女性の育成を目的として教育活動を行っており、本教科では、実習するなかで自ら発信し行動する姿勢、自主性を尊重して進めています。

中学校では、私立女子校であるという特性を生かして、家庭分野に厚みを持たせた内容にしています。食物分野では栄養と健康の関連性を理解した後に、中学生が日常生活で実践可能な取り組みやすい内容の調理実習を行います。被服分野では被服の働きや生活上での身体の動きを理解した上で、スモック・ルームウェアなどの被服実習を行い、実生活と関連づけて理解を深めています。これらの実習を通して、身近な生活の中で工夫・創造する喜びや達成感・責任感を持ち、問題解決にあたる力を培っています。また、技術分野として、プログラミング的思考やプログラミングの基礎・基本操作を学ぶ講座を実施しています。

高校では、将来、家庭生活を主体的に管理・経営できるように、課題意識を持ち自ら解決していく力を身につけることを目標としています。中学での学習内容をさらに発展させ、より専門的な食物、被服、保育分野を扱い、実習や実践を多く取り入れた授業展開としています。食物では、和・洋・中の調理実習を中心として調理学や栄養学を



学び、被服では、浴衣などの製作から被服の構成を学んでいます。共同作業や作品の完成を通して、豊かな人間関係を築き、生徒自身が自己発見をしながら、自立した女性へと成長していけるような指導を心がけています。

学年	前期		中期		後期	
	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	高校 1 年	高校 2 年	高校 3 年
目標	○生活に必要な技術を習得させ、生活と技術の関係を理解し、工夫創造する能力と実践的な態度を育てる。		○中学での学習内容をさらに発展させ、より専門的な食物、被服、保育分野を扱い、実習や実践を多く取り入れ学習する。 ○将来、家庭生活を主体的に管理・運営できるように、課題意識を持ち、自ら解決していく力を身につけることを目標とする。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○被服の働き</li> <li>○衣服の構成</li> <li>○布の性質</li> <li>○型紙の選択と補正</li> <li>○ミシンの扱い方</li> <li>○作業着(スモック)の製作</li> <li>○調理室の利用方法と注意</li> <li>○調理実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食生活と文化</li> <li>○栄養素の働き</li> <li>○食品の調理上の性質と調理方法</li> <li>○調理実習</li> <li>○休着(ルームウェア)の製作</li> <li>○ロックミシンの扱い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品の選択と調理</li> <li>○食品の調理上の性質と調理方法</li> <li>○調理実習</li> <li>○消費者としての自覚</li> <li>○購入方法と支払方法</li> <li>○消費者の権利と責任</li> <li>○持続可能な消費生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分らしい生き方と家族</li> <li>○高齢者と関わる</li> <li>○社会と関わる</li> <li>○消費行動を考え、経済的に行動する</li> <li>○子どもと関わる</li> <li>○食生活をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衣生活をつくる</li> <li>○快適な衣服と安全性</li> <li>○衣服の計画と管理</li> <li>○被服製作の基本</li> <li>○ライフステージと住まい</li> <li>○住空間の計画</li> <li>○健康で安全な住まい</li> <li>○住政策と住まいの課題</li> </ul>	<p><b>(選択食物)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○五大栄養素</li> <li>○栄養所要量</li> <li>○カロリー計算</li> <li>○栄養状態の自己管理</li> <li>○食文化とマナー</li> <li>○和洋中の基本および応用調理</li> <li>○献立作成</li> </ul> <p><b>(選択被服)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平面構成</li> <li>○被服製作(浴衣)</li> <li>○浴衣の着装</li> </ul>
	<p>●技術分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プログラミング講座</li> </ul> <p>プログラミングの思考や基礎・基本操作を学ぶ講座を実施</p>					

## 心を形にして美しい振る舞いを身につけます

中学では礼法の指導を3年間通じて2週間に1度、日常の授業として行っています。授業では学校創立以来、小笠原流礼法の形を基本として、落ち着いた自然で美しい振る舞いを身につけることを目的とした指導が行われています。

<各学年の内容>

1年生:「基本動作の習得」立礼、座礼での基本的な動き、基本的な品物の受け渡し、挨拶の言葉など日常生活での簡単な作法を学習していきます。

2年生:「日常生活での作法」1年生で学んだ基本動作をもとに、席順、食事作法、ふすまの開閉、座布団の扱い、テーブルマナーなど日常生活でのさまざまな作法の形を学習します。

3年生:「伝統的なしきたりとしての作法」拝礼の作法、訪問のマナー、贈り物の形と作法、いろいろな品物の受け渡しなど、社会人として人のお付き合いをしていくうえで大切な作法の形を学びます。

このように中学校3年間で、一人前の女性として身につけてほしい作法の形を、一つ一つ実際に体を動かしながら学んでいきます。そして高校では、1年生でのマナー講座、2年生での礼法授業で、より実践的な大人としてのマナーの形を学びます。



中学1年生のころはまだ動きも堅く、礼もごちないのですが、3年生になるころには落ち着いた自然で美しい振る舞いができるようになります。そして高校生になると精神的にもずっと大人になり、捉えかたも違ってきます。

中高6年間の精神的に大きく成長する時期に、きちんとした作法の形を学ぶことは心の発達にも大きく影響し、身についたきれいな礼は社会に出た時に大きな力となることと思います。また、日本の伝統ある美しいしぐさ、言葉、礼の形を学んでいくことによって、穏やかで豊かな心を育んでほしいと願っています。

学年	前期		中期		後期	
	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	高校 1 年	高校 2 年	高校 3 年
目標	○家庭・学校・社会などで人間としてまもらなければならない心・考え方を養うとともに、現代の生活様式にあった礼儀正しい言語・動作・社会生活上の常識を身につける。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○礼儀作法について</li> <li>○学校生活での心得</li> <li>○姿勢</li> <li>○立礼の基本</li> <li>○お弁当の食べ方</li> <li>○和室での作法</li> <li>○手紙の作法</li> <li>○起居動作</li> <li>○歩き方</li> <li>○めぐり方</li> <li>○座礼の基本</li> <li>○包み方、結び方、畳み方</li> <li>○みかんの食べ方</li> <li>○1年のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行き違いの礼</li> <li>○前通りの礼</li> <li>○室の席次</li> <li>○日常の食事マナー</li> <li>○テーブルマナー</li> <li>○襖・障子の開閉</li> <li>○座布団のすすめ方、座り方</li> <li>○品物の持ち方</li> <li>○お茶のすすめ方、受け方</li> <li>○接待の心得</li> <li>○2年のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○神仏の拝礼</li> <li>○和食の作法</li> <li>○訪問の作法</li> <li>○浴衣の着付け</li> <li>○品物の受け渡し</li> <li>○贈り物の形と作法</li> <li>○式典での作法</li> <li>○賞状のいただき方</li> <li>○3年間のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マナー講座 中学で学んだことを日常に応用できるよう、いろいろな面からマナーについて考え、日常生活の身近なことから自分を見つめ直す機会となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○拝礼、贈答のマナー</li> <li>○品物の受け渡し</li> <li>○面接のマナー</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○面接のマナー(希望者のみ)</li> </ul>

## 生徒の希望を大切に! 生徒の数だけ道がある。

共立では、大学合格をゴールだとは考えていません。あくまでも「誠実・勤勉・友愛」の校訓のもと、社会の中で「自立する女性」を育てることを目標としています。

昨今では、女性の活躍の場も広がり、生徒の志望も多様化しています。このような状況で、生徒一人ひとりがしっかりと自分を見つめ、社会に関心を持ち、偏差値やブランドだけにとらわれることなく進路を決めることを望んでいます。そしてその目標に向けて生徒が努力できるよう、教職員一同サポートしていきます。

### ○卒業生チューター

放課後、大学・大学院に通う卒業生が進路相談室に待機しています。勉強の質問や進学の相談はもちろんのこと、学校生活の様々な悩み事について良き相談役となっています。チューター主催のキャンパスツアーや校内企画も充実しています。



チューターの所属大学・学年	月	火	水	木	金	土(前)	土(後)
慶應義塾大学理工学部修士2年		○					
東京科学大学生命理工学院生命理工学系修士2年		○					
早稲田大学法学部2年			○				
東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻1年			○				
早稲田大学商学部2年				○			
慶應義塾大学薬学部薬学科2年				○			
東京科学大学物質理工学部修士2年					○		
聖マリアンナ医科大学医学部5年						○	
早稲田大学教育学部2年						○	
お茶の水女子大学 生活科学部 人間生活学科1年						○	
千葉大学看護学部看護学科4年							○
東京理科大学薬学部4年							○

## ●主要大学への過去3年間の合格実績推移〔合格者数は現役生+過年度生、○囲みの数字は過年度生数〕

国・公立大学(大学校含む)	2025	2024	2023
<b>2025年度</b>			
北海道大学4(獣医1) 東北大学1 筑波大学2 千葉大学6② 東京科学大学2 東京外国語大学1 東京海洋大学1 お茶の水女子大学5 東京農工大学1 東京学芸大学1① 横浜国立大学2 新潟大学2(医1) 山梨大学1 宇都宮大学1 富山大学1 金沢大学1 鳥取大学1 熊本大学1 鹿児島大学1① 埼玉県立大学1 東京都立大学1 都留文科大学1 神戸市外国語大学1 防衛医科大学校1			
<b>2024年度</b>			
東京科学大学3 東京外国語大学2 筑波大学3 お茶の水女子大学1 東京藝術大学1① 千葉大学3 東京都立大学1① 電気通信大学1 福島大学1① 埼玉大学1 山形大学1 新潟大学1 信州大学1 山口大学1 長野県看護大学1			
<b>2023年度</b>			
北海道大学1 東北大学1 筑波大学1 千葉大学7① 電気通信大学1 東京医科歯科大学(医)2① 東京外国語大学2 東京学芸大学1 東京工業大学1 一橋大学1 富山大学1 静岡大学1 大阪大学1 東京都立大学3 横浜市立大学1 富山県立大学1 金沢美術工芸大学1 防衛医科大学校1			

私立大学	2025	2024	2023
早稲田大学	44	33①	46
慶應義塾大学	22①	29⑤	32①
上智大学	22	22	44
国際基督教大学(ICU)	1	4	2
東京理科大学	33①	31	18①
学習院大学	31①	15	20①
明治大学	78④	60②	87
青山学院大学	22①	32①	26
立教大学	59①	73②	79
中央大学	31	18①	30③
法政大学	42①	36	37
津田塾大学	8	10①	7
東京女子大学	14	13	29
日本女子大学	31	26①	30②
成蹊大学	20①	22	4
成城大学	20①	15	15

私立大学	2025	2024	2023
明治学院大学	17③	29②	31
國學院大学	9①	11	15
日本大学	25①	35③	18②
東洋大学	39③	35③	25①
北里大学	9①	12	10
順天堂大学	10	5	12①
聖路加国際大学	3	1	4
東邦大学	14①	5	8
杏林大学	2①	3①	4
東京薬科大学	2	2	2
東京農業大学	19①	10	23④
東京電機大学	5	9	3①
芝浦工業大学	16	12	8
昭和大学	1	2②	2①
多摩美術大学	3	7②	1
武蔵野美術大学	10	5①	2
卒業生数	307	302	300

## ●過去3年間の医学部医学科合格実績

約40%(3クラス)が理系選択者で、特に近年は医学部医学科への志望が高まっています。

(国公立)	(私立)
筑波大学 1	埼玉医科大学 2①
東京科学大学 1①	岩手医科大学 2①
東京外国語大学2 東京学芸大学1	東京医科大学 1
東京工業大学1 一橋大学1	東京女子医科大学 2②
富山大学1 静岡大学1 大阪大学1	東海大学 1
東京都立大学3 横浜市立大学1	東邦大学 2
富山県立大学1 金沢美術工芸大学1	日本大学 3①
防衛医科大学校1	帝京大学 4①
	東京慈恵会医科大学 2①
	北里大学 2
	国際医療福祉大学 2①
	兵庫医科大学 1①
	近畿大学 1①
	愛知医科大学 1
	聖マリアンナ医科大学 2
	金沢医科大学 1①

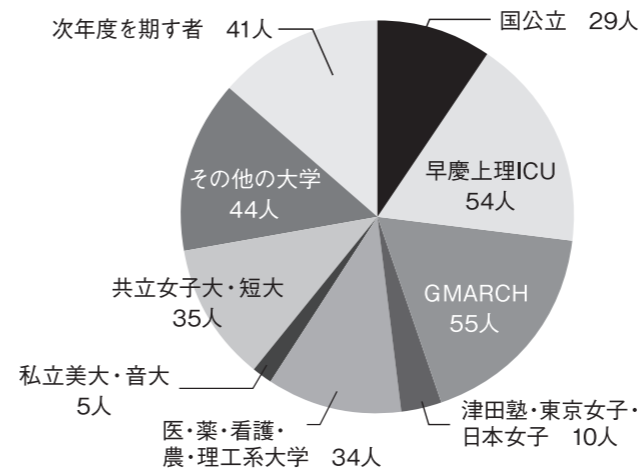
## ●主な指定校推薦の大学と人数枠(昨年度実績・一部抜粋)

依頼総数: 119大学

早稲田大学 (7名)	文化構想 1名 教育 1名 法 1名 人間科学 1名 基幹理工 1名 先進理工 2名	中央大学 (7名)	法 1名 商 1名 文 1名 基幹理工 1名 国際経営 1名 国際情報 2名
慶應義塾大学 (6名)	法 1名 商 2名 薬 1名 理工 2名	法政大学 (5名)	G I S 1名 社会 1名 理工 2名 生命科学 1名
東京理科大学 (24名)	創域理工 4名 創域情報 2名 先進工 4名 工 4名 理1部 4名 薬 2名 経営 1名 理2部 3名	学習院大学 (7名)	経 済 1名 文 2名 理 4名
国際基督教大学	教 養 2名	津田塾大学	総合政策 1名 学 芸 5名
上智大学	外国語 1名 理工 1名	東京女子大学	現代教養 5名
明治大学 (5名)	文 1名 理工 1名 経営 1名 総合文化政策 1名 経営 1名	日本女子大学 (6名)	人間社会 1名 理 2名 家政児童 1名 文 2名
立教大学 (5名)	経 済 1名 法 2名 現代心理 1名 観光 1名	北里大学 (6名)	理 1名 薬 2名 看護 1名 健康科学 2名
青山学院大学	総合文化政策 1名 経営 1名	東京歯科大学	歯 1名
		日本大学	理 工 2名 法 1名
		日本赤十字看護大学	看護 1名
		聖路加国際大学	看護 1名
		東邦大学 (11名)	看護 2名 理 8名 薬 1名
		ハンガリー国立大学	医 3名

## ●現役生の進路 (2025年度卒業生307人)

近年は理系や芸術系を含め、生徒の希望進路に沿った多様な大学・学部へ進学しています。



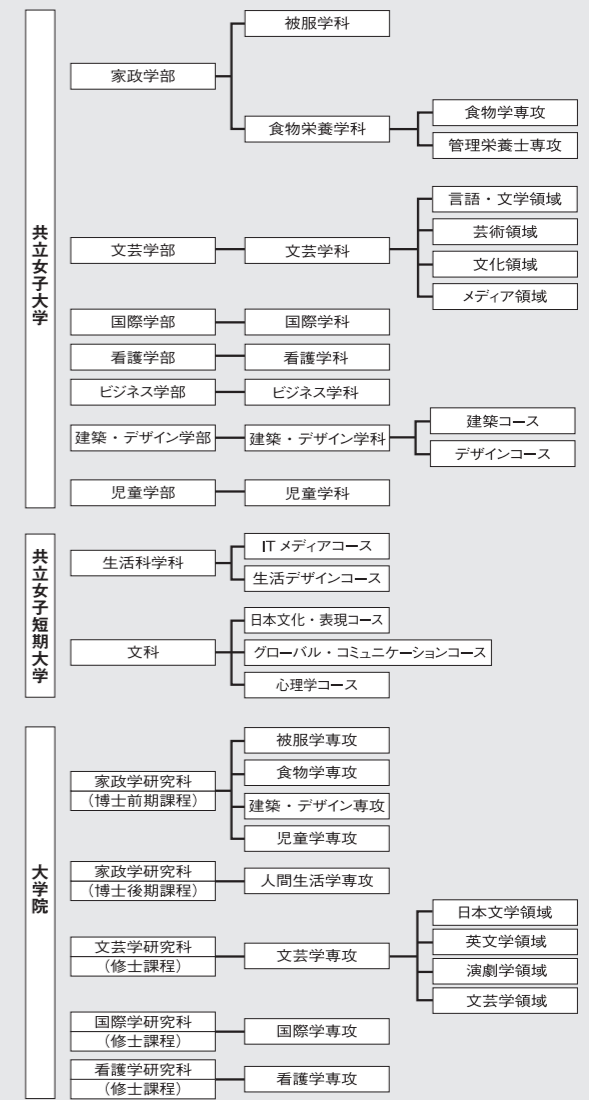
( GMARCH・・・学習院・明治・青学・立教・中央・法政 医・薬・看護・農・理工系大学・・・北里・東邦・東京農業・芝浦工大・明治薬科等 )

## KYORITSU WOMEN'S UNIVERSITY [共立女子大学]



大学には家政学部、文芸学部、国際学部、看護学部、ビジネス学部、建築・デザイン学部、児童学部の7学部と大学院を、短期大学には生活科学科、文科を神田一ツ橋キャンパスに整えています。

時代の要請に応え、「リーダーシップ」「情報化」「国際化」を推進する大学の教育姿勢は、多くの企業からも社会からも高い評価を獲得し、卒業生の多くがビジネスや文化の第一線で活躍しています。



## ●共立女子大学・短期大学への進学状況

本校は共立女子大学の併設校として様々な優遇措置があり、例年10%前後の生徒が同じ神田一ツ橋キャンパス内にある共立女子大学へ進学しています。

なお、高3生が大学の一部科目を修得し、進学後に単位設定される「KWU 高大連携プログラム」も用意されています。

## 【ランゲージスクエア】

日本語以外の語学を実践的に学ぶ場所として、異文化理解や国際交流を視野に入れた国際色豊かな「ランゲージスクエア」という施設があります。外国人教員が常駐し、授業や放課後の活動に利用します。気軽に訪れ、英語をはじめとする諸外国語に、より慣れ親しみ進んで学習に取り組める環境となっています。ここで、外国人講師とのコミュニケーションを通して、英語で自分をリアルタイムに表現する練習ができます。また、季節毎に企画される行事（イースターやクリスマス）に参加したり、洋書や海外の新聞を閲覧したり、海外のニュースや映画、ドラマ、音楽を視聴したりすることを通して、世界観を広げ、外国の文化や知識を得ることができます。まさにグローバルな世界にはばたく共立生の充実した空間といえるでしょう。

## 【オンライン英会話】(中学全員・高校希望者)

自宅のパソコン、タブレットを利用した「オンライン英会話」を導入しています。英語によるコミュニケーションを重視する時勢において、外国人との会話に抵抗感を少なくし、授業以外にも「話す」「聞く」機会を増やすことが目的で、1対1でのレッスンを長期休暇中の課題や授業内で受講できるよう契約しています（1回25分・年間10回）。チケットを購入すれば、年間契約回数を越えて利用することもできます。

## 【中国語・フランス語】

中高共通の自由参加型の課外講座として、週1回「中国語会話講座」を開講しています。また、高校2年・3年次の選択授業として「中国語」「フランス語」が第2外国語として選択でき、世界に向けた広い視野を養っています。

## 【英字新聞プロジェクト・模擬国連】(希望者)

### ■英字新聞プロジェクト

本校の魅力と地域の紹介を目的とした英字新聞「Kyoritsu Times」を作成しています。このプログラムは、日本の英字新聞の代名詞とも言えるJapan Timesが企画した、グローバル人材育成を目的とした教育プログラムです。完成までに、「新聞の書き方」「取材の仕方」「英文記事のおこし方」「構成の仕方」など様々な講座が用意されています。新聞作成の過程で、思考力・判断力・表現力・社会性・リーダーシップを身につけます。

### ■模擬国連

グローバル・クラスルーム日本委員会が主催する「全日本高校模擬国連」に参加しています。模擬国連とは、高校生がある国の大使として、実際の国連会議のようなプレゼンテーションやディスカッションをする活動です。練習会を経て予選にエントリーし、11月に行われる全国決勝大会にむけて充実した取り組みを行っております。英語力はもちろん、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力が身につきます。活動自体は高校生対象ですが、中学生も練習会に参加しています。

## 【海外大学進学推薦制度】

※P21をご参照ください。

## 【イングリッシュシャワー】(中1~3希望者)

イングリッシュシャワーは、校内のプチ留学ともいうべき企画で、長期休暇の3日間、10人前後のグループで外国人講師と過ごすグローバル教育プログラムです。海外研修を念頭に、海外の文化や風習を紹介してもらうほか、「発表」に力点を置いた英語での授業を行います。発音の特訓・自己紹介の要領・質問の方法・会話の進め方・意見の発表の仕方のコツなどをゲームやDVD視聴を交えながら、楽しく効果的に教えてくれるため、学年の過半数が参加する人気企画です。



## 【Global Studies Program】(高1~3希望者)

Global Studies Programはイングリッシュシャワーの高校生版としてのプログラムで、よりレベルアップした英語の発信力を養います。共立のスローガンである「リーダーシップ」をキーワードとして、ネイティブのファシリテーターと外国人留学生のグループリーダーとともにディスカッションを重ね、実践することを目的としたアカデミックなプログラムです。

## 【Bank of America Event】(中高生・希望者)

アメリカのメガバンクの1つであるバンク・オブ・アメリカが主催するイベントに参加しています。この企画はバンク・オブ・アメリカに勤務している本校の卒業生の働きかけによって実現し、「数年後に社会で働く女性に対して将来の学業やキャリアの選択肢を広げる」と、「英語を駆使して働く世界に触れ、グローバルマインドを育む」ことを目的にした大変好評なプログラムとなっております。社内ツアー・コンピュータプログラミング・株式トレーディングゲーム・ディスカッションなどのプログラムを含むイベントに毎年参加しています。

## 【各種海外研修】

中高生が参加できる春季・夏季の海外研修プログラムを複数用意しております。いずれも英語研修と現地校での体験授業があり、観光など充実したアクティビティを行います。ホームステイや学生寮での生活を通して、現地の文化や習慣についても学びます。

### ◇カナダ夏季研修(中2~高2希望者)

研修地:バンクーバー / 期間:約2週間 / 参加生徒数:25名 / 内容:現地校での英語研修・学生寮

### ◇ニュージーランド夏季研修(中2~高2希望者)

研修地:クライストチャーチ / 期間:約2週間 / 参加生徒数:25名 / 内容:現地校(姉妹校St. Margaret's College)での英語研修・ホームステイ

### ◇オーストラリア春季研修(中2~高2希望者)

研修地:パース / 期間:約10日間 / 参加生徒数:40名 / 内容:現地校での英語研修・ホームステイ

### ◇シンガポール春季研修(中1~中3希望者)

研修地:シンガポール中心部 / 期間:約10日間 / 参加生徒数:40名 / 内容:現地校での英語研修・ホテルおよびホームステイ

### ◇アメリカ春季研修(中3~高2希望者)

研修地:サンディエゴ / 期間:約10日間 / 参加生徒数:20名 / 内容:現地校での英語研修・ホームステイ

### ◇イギリス春季研修(高1・高2希望者)

研修地:ロンドン / 期間:約11日間 / 参加生徒数:25名 / 内容:現地校での英語研修・ホームステイ



## 【各種ターム留学】(高1希望者・校内選考)

高校1年生を対象に3つのターム留学を用意しています。ターム留学とは、1~3週間の短期の語学研修とは違い、長期留学の短縮版であると考えます。ターム留学では、様々な語学研修の目的となる「言語学習」・「異文化体験」を超えて、現地の人として生活していくことが大切になります。学校では、自分だけのカリキュラムを作って授業に出席し、その学校の生徒として学校生活を送ることになります。ホームステイでは、「ゲスト」ではなく「ファミリー」として生活しなくてはなりません。ターム留学は「体験」というより「生活」そのものです。なによりも大事な目的はもちろん英語力アップですが、語学以外にも、学校やホームステイ先での人とコミュニケーションを通してグローバルマインドも養われます。

### ◇ロングターム留学プログラム(約10ヶ月間)

カナダのブリティッシュコロンビア州(バンクーバー地域)のメイプルリッジ・ピットメドウズ教育委員会より、パートナー校として認定されており、学区にある6つのハイスクールのうち1つのハイスクールとのロングターム留学が可能です。メイプルリッジ・ピットメドウズ教育委員会はカナダの西海岸、バンクーバー国際空港より約1時間の場所に位置します。公立の小・中・高等学校を管轄する教育委員会で、質の高い教育プログラムを準備しています。

派遣期間:9月から翌年6月までの10ヶ月間

定員:1名

(成績面・生活面・健康面などを考慮し、校内選考を経て留学生を決定)

### ◇NZ 2ターム留学プログラム(約6ヶ月間)

ニュージーランドのオークランドにある名門校で6ヶ月間お世話になります。ニュージーランドの学校はほとんどが4学期制で、1月末から始まる第1学期に合わせて渡航し、7月初旬まで通います。派遣校例: Takapuna Grammar School  
派遣期間:1月下旬から7月初旬までの約6ヶ月間  
定員:1名

### ◇NZ 1ターム留学プログラム(約2ヶ月間)

ニュージーランドの首都ウェリントンにある名門女子校で2ヶ月間お世話になります。ニュージーランドの学校はほとんどが4学期制で、1月末から始まる第1学期に合わせて渡航します。派遣校例: Wellington East Girls' College (Wellington)  
Sacred Heart College (Lower Hutt)  
St. Catherine's College (Wellington)  
派遣期間:1月下旬から4月上旬までの約2ヶ月間  
定員:最大10名

## 【海外大学進学推薦制度】

自己の将来の夢や目標の実現のために、また、専門分野や学問を深く追究するために、日本の大学と同様に「海外の大学」も進路選択の1つとして捉え、近年、海外大学への進学を希望する生徒が増加しています。そのような海外大学への進学を希望する生徒やご家庭のニーズに合わせて、指定校推薦のような形で海外大学やコミュニティーカレッジへの合格を保証する「共立女子中学高等学校海外大学進学推薦制度（以下、海外大学進学推薦制度）」があります。

本制度ではグローバル教育プログラムの企画運営に関わっている株式会社アイエスイが実施する海外大学進学協定制度を通じて海外大学進学への支援を行っています。一人ひとりの英語力に応じたルートで進学を目指すことができる制度のため、高い英語力は必ずしも求められません。「海外大学を卒業したい」「海外大学での学びを活かして社会に貢献したい」といった強い想いを重視した入学審査で進学先が決定します。また、学校の推薦を受け本制度に申請することで、いずれかの海外大学またはコミュニティーカレッジへの合格が保証される他、大学選抜から進学まで海外大学進学に精通したエージェントによるサポートを受けることができますので、安心して進学準備を進めることができます。

この海外大学進学推薦制度には以下の3つの進学方法があります。

### ① Go Campus進学(奨学金保証進学)

北米大学奨学金進学プログラム (Go Campus Academic Program) で返済不要の奨学金を獲得し、北米の大学へダイレクトに進学できます。



### ② 2+2進学(コミカレ進学)

世界トップクラスの大学への編入実績が豊富なアメリカのコミュニティーカレッジ(コミカレ)への進学を目指します。比較的入学基準が穏やかなコミカレなので、出願の負担感が軽減されます。

### ③ パスウェイ進学(合格保証進学)

世界の大学ランキング500位以内の大学を多数含む対象校にパスウェイやファンデーション経由で進学します。

※この海外大学進学推薦制度の説明会を毎年開催しております。



## 【ハンガリー国立医科大学との高大連携】

本校は、欧州の医学教育の名門であるハンガリー国立医科大学(センメルワイズ、デブレツェン、ペーチ、セゲドの4校)との高大連携を締結しています。同大学事務局を通じて、高校生のうちから世界レベルの医学教育に触れられる機会を提供しています。希望者による現地キャンパスツアーへの参加や、オンライン説明会、現地の日本人学生との相談会など、将来の進路を具体的に描くためのサポート体制を整えています。

※本校は2025年度から指定校推薦の対象となっています。

## 【長期休暇講座 夏季・冬季・春季】

国・英・数の3教科(基礎と発展から選択)の補習や受験対策のみならず、普段の授業では扱うことができない分野や教養講座、フィールドワークまで、その内容は多種多様です(1講座1,500円)。

### 【2025年度夏季に実施された講座の一例】

「江戸の怪談を読む」(国語)、「英語長文演習」(英語)、「関数あれこれ」(数学)、「解剖実習」(理科)、「真★論述演習」(社会)、「模擬国連に挑戦しよう!」(教養)、「デッサンを描こう!」(教養)など例年100講座以上



デッサンを描こう!



大人になる前に知っておきたいお金の話

# Q&A

### Q1 中高一貫校ということで、授業進度は速く進むのでしょうか。

A1 国語・数学・英語などの基幹教科については、中・高6年間の履修内容を基本的に高校2年生までに終わらせるカリキュラムとなります。当然進度は速くなりますが、その分の授業時間数は確保されていますので、授業を大切にさえすれば、充分に対応できます。

### Q2 中学から高校への進学の基準はどのようになっていますか。

A2 学習・成績・生活面で顕著な問題がない場合に、入学が許可されます。中高6年一貫校ですので、中学から高校に進学することを前提に指導しています。

### Q3 少人数制や習熟度別授業編成は行われていますか。

A3 英語や数学の授業は、入学時より少人数編成で実施され、さらに生徒一人ひとりの理解度や状況に合わせ、中学1年後期から習熟度別授業を開始します。表現指導を体系的に行う中1～中3の「国語表現」の授業はクラスを2分割しての実施で、きめ細かな指導により、効果をあげています。

### Q4 日常的に実施されている補習や補講はありますか。

A4 中学でも高校でも、部活動を入れない曜日を立ててほぼ毎週実施しています。「補習」は指名制で基礎的な内容を、「補講」は任意参加で発展的な内容を扱っています。

### Q5 長期休暇中に開設される授業や講座はありますか。

A5 夏季・冬季・春季講座を中高ともに1講座1,500円で開講しています。夏季の場合、中学2・3年生は前期6日間の開講(3日で1講座)で、参加は自由ですが、例年は約8割の生徒が受講しています。高校では前期・後期の計12日間で開講(3日で1講座)し、補講や受験対応講座のみならず、浴衣の着付けなど教養的なものも含めて、100以上の講座が開講されます。また、外部講師によるイングリッシュシャワーなどの英語講座、海外研修も開設しています。詳しくは、P19・20をご覧ください。

### Q6 塾・予備校には、どれくらいの生徒が通っていますか。

A6 中学生は小学校時代からの延長で、通塾が安心感に結びついているケースもあるようですが、あくまで少数です。高校2年生以降は通塾者が増えますが、学校の勉強だけでも大学受験に対応できる体制を整えています。なお、学校では午後8時まで残って予習や復習をしてから帰宅できる「Kyoritsu Study Room」を設置しています。登録制で有料とはなりますが、チューターがついて質問も可能で250名ほどが利用しています。

### Q7 共立での「総合的な学習(探究)の時間」への取り組みはどのようになっていますか。

A7 クラスメイトとの様々なワークとフィードバックを基軸に、自らの強みに気づく「共立リーダーシップ開発」を基本としています。学年を追うごとに、その力を発揮する範囲を学校から、外の社会へと広がっていくことで、VUCAの時代を生き抜く礎を築きます。

### Q8 英検・漢検などの対策や指導はしていますか。

A8 本校は英検の準会場に登録されているので、1次試験(筆記試験)は本校で年1回受験することができます。英語科では、中学卒業時には準2級以上を取得できるよう指導しています。

また漢検も準会場として校内での受験機会を年2回設けています。国語科の漢字テストに漢検テキストを用い、また対策プリントを配布していることもあって、高校1年修了時にはほとんどの生徒が準2級以上を取得しており、毎年漢検協会より表彰を受けています。

### Q9 英語4技能の測定や、各技能伸長の対策はありますか。

A9 4技能習得が、昨今の教育改革で大きな課題となっています。英語4技能資格試験として多くの大学入試で活用されている英検は校内で受験できます。また、高校2年生は全員で2級以上の級を受検する機会を設けています。

なお、高2からは、ライティング添削講座等を業者と提携して設け、また本校のネイティブ教員が希望者にスピーキングを中心とする個別指導を放課後に行っています。

### Q10 在学中に海外留学することはできますか。

A10 中学では在籍しながらの留学は認めていません。高校では、一般的には休学留学ですが、進級留学もあります。進級留学は、成績などの一定の条件と、帰国後の試験によって、留学先での履修を本校における履修とみなし、単位の修得を認定して、進級した学年に復学できる制度です。また、少人数ではありますが、高1のカナダ・ニュージーランドへのターム留学の機会もあります。詳しくは、P19・20をご覧ください。

### Q11 共立女子大学の受験と外部大学の受験との関係はどのようになっていますか。

A11 本校の特色は「進路の自由と安定」です。共立女子大学を受験する際には様々な優遇措置があり、他大学を併願できる制度もあります。例年、多くの生徒が合格しており、ここ数年約10%が進学しています。高3生の一部授業参加も可能になり、連携がさらに進みつつあります。詳しくは、P17・18をご覧ください。

### Q12 父親の転勤で地方、あるいは海外の学校に転校した後、再び戻ってきた場合に、復学はできますか。

A12 中学1年の研修旅行(7月)まで在籍していた場合、国内外を問わず復学は可能です。ただし転学(退学)後2年以内で、高校1年の8月までに戻ることが条件です。



【生活時間】

予	鈴	8:05
ホ	ム	8:15 ~ 8:25
1	時	8:35 ~ 9:25
2	時	9:35 ~ 10:25
3	時	10:35 ~ 11:25
4	時	11:35 ~ 12:25
予	鈴	13:05
5	時	13:15 ~ 14:05
6	時	14:15 ~ 15:05
終	(月)~(金)	15:15 ~ 15:20
礼	(土)	12:30 ~ 12:35
清	(月)~(金)	15:20 ~ 15:40
掃	(土)	12:35 ~ 12:55
下	校	17:30
完	全	17:45
下	校	17:45

※自習サポートセンター登録者を除く

【制服】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
夏服						冬服					

**中学**  
 冬 服:セーラー上下(濃紺)・ネクタイ(フェザーホワイト)  
 ソックス(白・三つ折)・ストッキング(黒)  
 夏 服:半袖セーラー(白)・ネクタイ・(マリンブルー)・スカート(紺)  
 ソックス(白・三つ折)  
 オプション:セーター(白・濃紺/通年)・コート(濃紺/冬)  
 長袖セーラー(白/夏服)・ポロシャツ(ホワイト・パープル/  
 暑さ対策期間)

**高校**  
 冬 服:ブラウス(パープルピンク)・ブレザー(濃紺)  
 ネクタイ(青チェック)・スカート(濃紺)・ハイソックス  
 夏 服:半袖ブラウス(パープルピンク)・スカート(濃紺)  
 ハイソックスまたはショートソックス(濃紺)  
 オプション:セーター(白・濃紺/通年)・ベスト(白・紺/通年)  
 コート(濃紺/冬服)・スカート(チェック/夏服)  
 スラックス(濃灰/通年)・  
 ポロシャツ(ホワイト・パープル/暑さ対策期間)

【教職員データ】

専任教諭 107 (男48・女59 平均年齢44歳) 講師 61 (男17・女44)

国語科	16	社会科	14	数学科	19	理科	12	体育科	9
芸術科	5	外国語科	24	技術家庭科	5	養護教諭	3		

職員					
事務	6	司書	1	カウンセラー	2
				校医	2
				助手	7



中学・高校時代は、友人や家族との関係、勉強のことなど、戸惑うことや話にくいが増える時期です。また、体調不良や病気・けが等、身体上の悩みを抱える場合もあります。

本校では生徒が充実した学校生活を送れることはもちろんのこと、保護者の方々にも安心していただけるよう、担任、副担任をはじめとした学年の教員や部活動顧問、教科担当者以外にも、さまざまな場所で相談体制を用意しています。

【保健室】

中学、高校で2室あり、3名の専任養護教諭で担当しています。

また、保健委員会を通じて「保健だより」も発行しており、その時に話題になっている健康情報や季節に合わせた内容を生徒に向けて発信しています。

【カウンセリング室】

毎週火・木・金・土曜日に女性カウンセラー3名が交代で待機しており、友人関係など学校生活の悩みについて相談できます。なお、お子様のことについて保護者の方からの相談も受け付けています。

【学校医】

第2、3、4週の木曜日の昼休み・放課後に相談することができます。

【よろず悩み相談室】

毎週土曜日の放課後に、各学年の相談係教諭や養護教諭・司書教諭がどんな相談でも対応できるように待機しています(前日までに申込が必要)。

【歯科指導】

中学1年生を対象に、学校歯科医の先生から指導を受けます。講話だけでなく、口腔観察やブラッシング指導を歯科衛生士から全員が直接受けることで、生涯に渡っての大切な知識を身につけます。

【その他】

個別の健康相談だけでなく、必要とされる学年には学校医や学校薬剤師、カウンセラーによる講堂講話も随時行っています。



保健だより



歯科指導(中1)



中学保健室



カウンセリング室

## 部活動

- 平常の部活動 活動終了時刻—午後5時30分  
下校完了時刻—午後5時45分  
定期試験前の1週間—活動不可

### 【中学の活動】

部活動には、ホームルーム活動や授業だけでは得ることができない価値ある学びがあります。規律ある上下の人間関係や集中力、協調性、時間に対する観念などは、部活動を通して得られる貴重な財産といえるでしょう。

学校としても積極的に支援しており、現在約95%の生徒がいずれかの部に所属して活動を行っています。

#### 【活動日一覧】

	部名	活動日						
		月	火	水	木	金	土	
文化部	演劇部	○		○		○	○	
	英語部	○				○		
	音楽部	○			○	○		
	科学研究部(科学班)	○				○		
	科学研究部(生物班)	○		○				
	吹奏楽部	○		○		○	○	
	写真部	○		○		○		
	書道部	○			○		○	
	美術部(美術班・デザイン班)	○				○		
	放送部	○				○		
	食物研究部						○	
	手芸部			○				
	茶道部(遠州流)		○			○		
	茶道部(不白流)	○					○	
	能楽部	○		○	○			
運動部	弦楽合奏部	○		○		○		
	古典文化部			○	○		○	
	卓球部	○		○		○	○	
	ダンス部	○		○		○	○	
	バスケットボール部	○		○		○	○	
	バトン部	○		○		○	○	
	バドミントン部	○		○		○	○	
	バレーボール部	○		○		○	○	
	陸上部	○		○		○	○	
	太極拳部	○		○		○	○	
課外講座	剣道部	○		○			○	
	華道 古流			○	○			
	華道 小原流			○				
	華道 草月流			○				
	華道 池坊			○				
中国語会話講座			○					



### 【高校の活動】

通常の活動は週3日以内で勉強との両立が問題になることはほとんどありません。限られた時間や場所でも工夫を凝らし、都大会や全国大会で活躍する部も少なくありません。

参加率は、約85%となっており、課外講座まで含めると90%近い生徒が何らかの活動をしています。

#### ●合宿(高校のみ)

原則として年1回の校外合宿(5泊6日以内)が認められています。

#### 【活動日一覧】

	部名	活動日						
		月	火	水	木	金	土	
文化部	文芸部		○		○			
	英語部	○	○		○			
	演劇部		○	○			○	
	音楽部	○			○	○		
	写真部		○		○		○	
	茶道部(遠州流)		○			○		
	茶道部(不白流)	○					○	
	書道部	○			○		○	
	映画部		○		○		○	
	放送部		○		○			
	美術部(美術班・工芸班・デザイン班)	○				○		
	地理歴史部		○		○			
	食物研究部			○				
	科学研究部(生物班)	○		○				
	科学研究部(化学班)		○		○			
科学研究部(地学班)		○		○	○			
運動部	吹奏楽部		○		○		○	
	弦楽合奏部		○		○	○		
	能楽部	○		○	○			
	古典文化部			○	○		○	
	手芸部			○				
	バレーボール部		○		○		○	
	バドミントン部		○	○	○			
	バスケットボール部		○		○		○	
	卓球部		○		○		○	
	ダンス部			○	○		○	
バトン部		○	○			○		
課外講座	山岳部	○	○		○			
	歩行部		○		○			
	剣道部			○	○		○	
	太極拳部	○					○	
	陸上部	○		○			○	
	華道 古流			○		○		
	華道 小原流			○		○		
	華道 草月流			○				
	華道 池坊			○				
	中国語会話講座			○				



# Q&A

## Q1 女子校の良さはどんなところにありますか。

A1 本学の建学の精神である「自立した女性」が自然と育っていく環境があることです。部活動や委員会も、すべて女子だけで行い、得意な分野で力を発揮する機会が多く存在しています。また、男子の目を気にすることなく、のびのびと生活することができます。

## Q2 クラスや学年の人数も多いようですが、指導が行き届かないというようなことはありませんか。

A2 1クラス約40人で1学年8クラスあります。本校の特長は「面倒見のよさ」と「きめ細やかな指導」であるとの定評をいただき、教職員もそのように自負しています。他校と比べても専任教諭1人当たりの生徒数は平均的で、特に中学では副担任や学年主任など、担任以外の目も多いため、トラブルには迅速に対応できます。

## Q3 いじめへの対応はどうしていますか。

A3 いじめに対しては、学校として絶対に許さないという姿勢で臨んでいます。授業やその他あらゆる学校活動において、他を尊ぶ心を育み、いじめ等のトラブルを未然に防止する体制を整えています。また、「カウンセリング室」や「よろず悩み相談室」を備え、万一の場合に「危機管理委員会」や「人権委員会」も設け、生徒がいつでも、どんなささいなことでも「メール」や「電話」を通じて伝えられる仕組みを作っています。

## Q4 携帯電話・スマートフォンの持参は可能ですか。

A4 中高ともに、携帯電話・スマートフォンの学校への持参を認めています（校内使用は禁止）。また、登校・下校の確認を望まれる場合には、「登下校情報メール配信サービス」（任意・月300円）をご利用いただくことができます。



## Q5 災害時の対応はどうなっていますか。

A5 災害発生時には生徒全員が校内で3日間は過ごせるよう、食料品・水・毛布・レスキューシート・簡易トイレなどを常備しています。東日本大震災に際しては、約1100名が学校に泊まり、翌日全生徒が無事に帰宅するまで、「緊急メール配信システム」（無料）を通して情報を随時ご家庭にお伝えしました。なお、東京・神奈川の私立校間では、「登下校時の緊急避難校ネットワーク」という協力・受け入れ体制が整備されています。

## Q6 土曜日の扱いはどうなっていますか。

A6 平常授業を4時間行っています。幅広い学びや各種の学校行事にも力を入れていますので、週6日制をとっています。

## Q7 生活指導や校則は厳しいですか。

A7 本校は勉強だけを重視する学校ではありません。社会に出て恥ずかしくない礼儀作法や服装・言葉遣いなどのマナー指導も大切にしています。染髪やパーマ、化粧、ピアスなどのアクセサリ類は禁止しています。私立女子校としては常識的な内容です。

## Q8 学校の周りはどのような環境ですか。

A8 都心のもっとも整備された環境の中にあり、安全で落ち着いた雰囲気です。神保町には世界的に知られる古書店街があり、付近には学士会館や出版社・新聞社のビルが立ち並び、北の丸公園や国立近代美術館、皇居の緑深い森や日本武道館もあります。4つの地下鉄路線の駅から徒歩数分の立地で、交通も便利です。

## Q9 通学時間はどのくらいの方が多いいですか。

A9 かなり広い範囲から通学しています。通学圏についての規定はなく、45分から1時間以内が平均的で、約3割の生徒は1時間以上となっています。1時間半以上かかる生徒も2%ほどいます。詳しい通学圏については、P37をご覧ください。

## Q10 両親とも仕事をもっているのですが、毎日お弁当を持たせなければなりませんか。

A10 お弁当を持参し、教室で食べるのが原則です。ただし、中学1年生の4月中旬から利用できる中高専用の食堂があり、予約なしでも食堂で食べることも、お弁当やパンをテイクアウトすることも可能です。

## Q11 部活動は盛んですか。加入率はどれくらいですか。

A11 中学での参加率は例年約95%、高校では約85%です。発達段階もあり、中・高の部活動は一部を除いて基本的に別活動となっています。中・高とも平日の活動曜日や時間は限られており、勉強との両立は充分可能です。詳しくはP25・26をご覧ください。

## Q12 活躍している部活動、ユニークな部活動を教えてください。

A12 ダンス部やバトン部は例年、外部大会で好成績を残しています。球技系では近年、バスケットボール部の活躍が目立っています。珍しい部としては、能楽部や太極拳部があります。また茶道部が2流派（遠州流・不白流）、書道部、古典文化部（百人一首・囲碁・将棋等）、さらに課外講座（兼部可）として華道4流派（小原流・古流・草月流・池坊）が設置されるというように、日本の伝統文化に接する機会にも恵まれています。

## Q13 PTA活動はどのようなものですか。

A13 学級PTAは中学で年2～3回、高校で年2回程度開かれます。委員については、各クラス常任委員1名、委員2名を選出し、文化部、生活部、広報部に分かれて活動します。6年間で必ず1回のようなルールはありません。また、来校していただく回数は土曜を中心にそれほど多くありませんので、お仕事をされている方でもお引き受け頂いています。詳しくはP36をご覧ください。



## 【募集要項・入試関連】

- 2027年度募集要項・諸経費 ..... P29
- 過去の入試状況 ..... P30
- 各入試の出題方針・結果・出題例 ..... P31～34
  - 国語 ..... P31
  - 算数 ..... P32
  - 社会 ..... P33
  - 理科 ..... P34
- 入試&入学 Q&A ..... P35
- PTA 活動・保護者向け講座・安全管理 ..... P36
- 通学圏関連 ..... P37,38

## 2027年度募集要項

	海外帰国生入試	2/1入試	2/2入試	2/3午後2科入試
募集人員	25名	130名	110名	55名
出願資格	※下記①参照	2027年3月小学校卒業見込みの者のうち、女子		
出願方法	インターネット出願のみ（詳しくはHP等をご覧ください）			
試験日	2026年 11月29日(日)	2027年 2月1日(月)	2027年 2月2日(火)	2027年 2月3日(水)
合格発表 (インターネット発表のみ)	11月29日(日) 17時	試験当日19時		2月4日(木)17時
学科試験	科目	国語・算数		国語・算数
	時間	国語・算数 各45分		国語50分・算数50分
	配点	国語・算数 各100点 (200点満点)		国語・算数 各100点 (200点満点)
入学検定料	25,000円	2/1、2/2、2/3（午後）入試のそれぞれ1回出願は25,000円、2回分の同時出願は40,000円、3回分の同時出願は50,000円（申込み後や決済後の追加出願は割引の対象外）		
返金	なし	入学手続き完了者に限り返金をいたします（繰上合格者は除く）。複数回の同時出願者で、2/1入試・2/2入試で合格し手続きをした場合、合格により事後受験しなかった入試の検定料分を返金します。返金額は、同時出願で納入した検定料から、出願した最初の日程で合格し手続きをした場合は25,000円を、2回目の日程で合格し手続きをした場合は40,000円を減じた金額となります。なお、2/3午後入試での合格・手続きに関しては、返金はありません。		
入学金納入	各合格発表時～2月4日(木) 14:30		合格発表時～ 2月4日(木) 23:59	
入学手続	2月4日(木)12:30～15:00(本校窓口) ※下記②参照		2月5日(金) 8:30～11:00	

※① 帰国生の出願資格は、原則として保護者の海外勤務により、本人が継続して1年以上海外に在留し、帰国して3年以内の者。

※② 海外帰国生入試の入学手続は、2月4日以外に11月30日・12月1日も可能です。

### ●入学時にかかる経費(2026年度 参考)

	中学	高校	iPadの一括購入について 本校では、タブレット端末(iPad Wi-Fiモデル)を1人1台学校一括で購入し、教育活動に使用しています。全教室には無線LANを配備しています。費用は3年分の保険・管理システム料を含めて10万円前後です(中1・高1で購入)。なお、自宅に持ち帰ることも可能です。
入学金	¥300,000	¥300,000	
制服(冬服) ※購入時平均	¥59,950 (セーター、追加のソックス等含、コートは含まず)	¥86,460 (セーター、追加のブラウス・ハイソックス含)	
指定用品(上履・かばん・体育着・iPadなど)	¥187,490	¥101,110	
制服(夏服) ※購入時平均	¥75,240 (追加の夏セラー等含)	¥73,370 (替えスカート、ベスト、追加のブラウス等含)	

### ●年間経費(2026年度 参考)

	中学	高校	備考
授業料	¥550,000	¥550,000	4期分納
施設設備維持費	¥240,000	¥240,000	4期分納
旅行代金	¥190,000程度(1・3学年分の合計)	¥150,000程度(2学年)	
生徒会費・副教材費・デジタル教材費 模試代・芸術鑑賞費 等	中1 ¥89,000程度 中2 ¥67,500程度 中3 ¥87,500程度	高1 ¥58,000程度 高2 ¥44,000程度 高3 ¥44,500程度	※高校ではコースや選択科目により額が異なります。
後援会費	¥20,000	¥20,000	

※高校に在学者対象に、国の就学支援金制度が適応されます。

※東京都在住の在校生対象に、東京都の授業料軽減助成金制度が適用されます。

※上記の入学時および年間の経費は、2026年度における実績または予定です。2027年度における金額は異なる場合があります。

## 過去の入試状況

### ●2/1入試

	2026年度	2025年度	2024年度	
募集人員	130名	130名	130名	
志願者数	439名	373名	375名	
受験者数	408名	344名	353名	
合格者数	182名	159名	160名	
実質倍率	2.2倍	2.2倍	2.2倍	
受験者平均点	国語(100点満点)	55.2点	55.7点	49.1点
	算数(100点満点)	61.0点	58.5点	46.1点
	社会(50点満点)	27.4点	31.9点	29.9点
	理科(50点満点)	26.4点	23.2点	25.9点
合格最低点(300点満点)	176点	175点	156点	

### ●2/2入試

	2026年度	2025年度	2024年度	
募集人員	110名	110名	110名	
志願者数	621名	697名	644名	
受験者数	433名	474名	447名	
合格者数	179名	218名	215名	
実質倍率	2.4倍	2.2倍	2.1倍	
受験者平均点	国語(100点満点)	54.9点	61.1点	57.7点
	算数(100点満点)	57.8点	57.1点	59.9点
	社会(50点満点)	28.3点	27.5点	28.0点
	理科(50点満点)	25.3点	22.4点	29.5点
合格最低点(300点満点)	175点	173点	180点	

### ●海外帰国生入試

	2026年度	2025年度	海外帰国生入試について 帰国生入試の試験科目は、国語と算数が必須です。ただし、実用英語技能検定(英検)の取得級による加点があります。(1～3級まで15点から5点の範囲とする) ※帰国生の出願資格は、原則として保護者の海外勤務により、本人が継続して1年以上海外に在留し、帰国して3年以内の者。
募集人員	25名	25名	
志願者数	46名	68名	
受験者数	43名	65名	
合格者数	30名	44名	
実質競争率	1.4倍	1.5倍	
受験者平均点	国語(100点満点)	64.8点	62.2点
	算数(100点満点)	63.7点	59.7点

### ●2月3日午後2科入試

募集人員	55名
試験科目	国語(50分)100点 算数(50分)100点
配点	国語・算数 各100点 (200点満点) ※ただし、実用英語技能検定(英検)の取得級による加点があります。(1～3級まで10点から5点の範囲とする)

※P.35 Q7もご覧ください。

### ●複数回受験の扱い・繰上合格について

繰上合格は、帰国生入試を除いた2月入試での複数回受験者(2回以上)のみを対象とします。手続き、入学辞退の状況に応じて繰上合格を出しています。

繰上合格(合計人数)

2026年度入試	39名
2025年度入試	41名
2024年度入試	30名

【国語】

1. 出題の基本方針

見たい力 … 言葉への興味関心を持ち、論理的な思考力が身についているか。  
 解答形式 … 漢字の読み書き以外は、記号選択中心(四択)。記述問題は④⑤(帰国は③④)で40字程度を1問ずつ出題。

2. 出題分野・問題数・配点

- 2/1 入試 ①漢字の読み書き…小問8(16点) ②ことわざ・慣用句…小問5(10点) ③詩…小問5(15点)  
 ④小説…小問8(31点) ⑤説明文…小問7(28点)  
 2/2 入試 ①漢字の読み書き…小問8(16点) ②表現…小問5(10点) ③詩…小問5(15点)  
 ④随筆…小問7(28点) ⑤説明文…小問8(点)  
 帰国 ①漢字の読み書き…小問8(16点) ②ことわざ…小問5(15点) ③随筆…小問6(33点)  
 ④説明文…小問7(36点)

3. 結果(平均点(100点満点)・大問別正答率)

2/1 入試 全体平均点 55.2点 合格者平均 60.2点 ①73.9% ②68.3% ③62.9% ④57.3% ⑤33.4%  
 2/2 入試 全体平均点 54.9点 合格者平均点 59.4点 ①64.9% ②45.5% ③70.8% ④49.9% ⑤49.9%  
 \*帰国(2024年度) 全体平均点 64.1点 合格者平均点 71.2点 ①69.1% ②71.6% ③67.5% ④56.7%

\*参考として掲載

4. 提示文章出典

- 2/1 入試 ③ 韻文(詩)…大崎 清夏『青い鳥』『暗闇に手をひらく』(リトル・モア)2025.01  
 ④ やわらかい文章(小説)…天川 栄人『私は食べるのが下手』(小峰書店)2024.06  
 ⑤ かたい文章(説明文)…稲田 俊輔『食の本 ある料理人の読書録』(集英社)2025.04  
 2/2 入試 ③ 韻文(詩)…やなせ たかし『シーソー』『おとうとものがたり』(フレーベル館)2014.09  
 ④ やわらかい文章(随筆)…高橋 久美子『いい音がする文章 あなたの感性が爆発する書き方』(ダイヤモンド社)2025.01  
 ⑤ かたい文章(説明文)…小林 武彦『なぜヒトだけが幸せになれないのか』(講談社)2025.04  
 帰国 ③ やわらかい文章(随筆)…俵 万智『生きる言葉』(新潮社)2025.04  
 ④ かたい文章(説明文)…竹内 薫『フェイクニュース時代の科学リテラシー超入門』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)2024.12

5. 出題例

2 次のことわざの(A)～(E)にあてはまる漢字一字を書きなさい。ただし、同じ記号の( )には同じ漢字が当てはまります。

(A)後のたけのこ  
 (A)垂れ(B)をうがう  
 (B)の上にも(C)年  
 (C)つ子の魂(D)まで  
 (D)まで踊り(E)れず

【算数】

1. 出題の基本方針

見たい力 … 小学校で習う基本的な知識の定着ができているか。  
 手を動かして(書き並べ)、規則性などを読み取ることができるか。答えを出すために、順序立てて解くことができるか。  
 解答形式 … 大部分の問題は答えのみを解答欄に記入する。問題によっては、途中式や考え方を記す問題もある。

2. 出題分野・問題数・配点

- 2/1 入試 ①計算…小問2(12点) ②小問集合…小問4(24点) ③相似な図形…小問3(15点)  
 ④約束記号[記述あり]…小問3(16点) ⑤ニュートン算[穴埋め形式]…小問7(17点)  
 ⑥グラフの読み取り…小問3(16点)  
 2/2 入試 ①計算…小問2(12点) ②小問集合…小問4(24点)  
 ③回転体…小問2(12点) ④点の移動と面積…小問3(18点)  
 ⑤旅人算[記述あり]…小問3(17点) ⑥規則性[穴埋め形式]…小問7(17点)  
 帰国入試 ①計算…小問2(12点) ②小問集合…小問4(24点) ③相似な図形…小問5(15点)  
 ④条件整理と推理[穴埋め形式]…小問5(15点) ⑤水量変化…小問3(18点)  
 ⑥規則性[記述あり]…小問4(16点)

3. 結果(平均点(100点満点)・大問別正答率)

帰国 全体平均点63.7点 合格者平均点72.2点 ①79.1% ②48.8% ③60.9% ④78.1% ⑤70.5% ⑥55.5%  
 2/1 入試 全体平均点61.0点 合格者平均点76.0点 ①84.6% ②70.3% ③64.9% ④48.9% ⑤64.8% ⑥34.0%  
 2/2 入試 全体平均点57.8点 合格者平均点72.4点 ①84.1% ②64.3% ③56.7% ④48.6% ⑤51.9% ⑥46.6%

4. 出題例

5 共立女子中学校の文化祭は2日間にわたって行われます。次の文章は受付係の共子さんのメモです。あ～くにあてはまる数を答えなさい。

1日目は開場前にすでに90人が並んでいて、開場してからは1分間に3人の割合で列に人が加わりました。この日は受付口が2ヶ所で、18分で列がなくなりました。18分間で列に加わった人はあ人なので、1分間で2ヶ所の受付口を通過した人数はい人でした。よって、1分間で1ヶ所の受付口を通過した人数はう人でした。

2日目はもう少し早く列をなくしたいと考え、受付口を3ヶ所にすることを検討しました。1日目と同様に開場前に90人が並び、1分間に3人の割合で列に人が加わった場合、列に並んでいる人数は、1分間でえ人ずつ減っていくので、お分で列がなくなると予想をしました。

しかし、2日目は開場前に144人並んでいたため、お分以内で列をなくすために、最低でもかヶ所の受付口を設置する必要が出てきました。実際には、かヶ所の受付口を設置しましたが、1分間に5人の割合で列に人が加わったため、列がなくなるのにき分く秒かかりました。

【社 会】

1. 出題の基本方針

見たい力 … 知識と理解の積み重ねができていないか。グラフ・表・図など資料を読み取る力があるか。  
 解答形式 … 記号選択や語句を記述する形式を中心とした出題。  
 人物や地名などは漢字指定もある。簡潔に説明をさせる問題を出題する場合もある。

2. 出題分野・問題数・配点

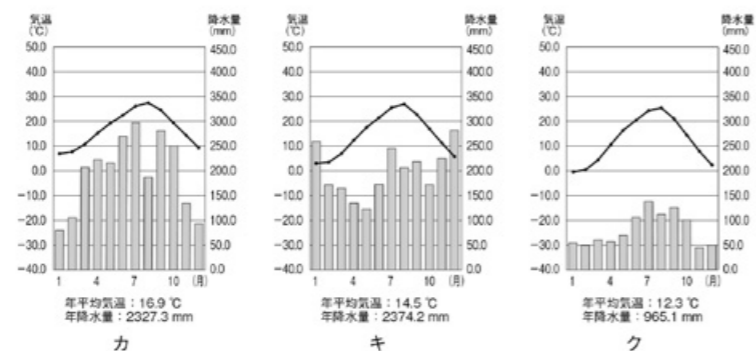
- 2/1入試 ①歴史に関する問題…小問 14(20点) ②地理に関する問題…小問 10(13点)  
 ③地理に関する問題…小問 5(7点) ④公民に関する問題…小問 8(10点)  
 2/2入試 ①歴史に関する問題…小問 14(20点) ②地理に関する問題…小問 11(12点)  
 ③地理に関する問題…小問 7(8点) ④公民に関する問題…小問 7(10点)

3. 結果(平均点(50点満点)・大問別正答率)

2/1入試 全体平均点 27.4点 合格者平均点 30.6点 ①50.9% ②63.8% ③64.2% ④44.4%  
 2/2入試 全体平均点 28.3点 合格者平均点 33.2点 ①52.0% ②56.9% ③70.0% ④55.0%

4. 出題例

問6. 図6のカ〜クは、図7の長野市、富山市、静岡市のいずれかの気温と降水量を示したものです。カ〜クと都市名の組み合わせとして、正しいものを後のA〜Fから1つ選び、記号で答えなさい。



〔理科年表2025〕国立天文台 編、丸善出版 発行より作成・編集

図6



図7

- A. [カ：長野市 キ：富山市 ク：静岡市]  
 B. [カ：長野市 キ：静岡市 ク：富山市]  
 C. [カ：富山市 キ：長野市 ク：静岡市]  
 D. [カ：富山市 キ：静岡市 ク：長野市]  
 E. [カ：静岡市 キ：長野市 ク：富山市]  
 F. [カ：静岡市 キ：富山市 ク：長野市]

【理 科】

1. 出題の基本方針

見たい力 … 自然現象に関する基礎的な知識が身についているか。  
 理科の知識をつかって科学的推論ができるか。  
 解答形式 … 記号選択または用語・数値を解答する形式の問題を多く出題する。  
 簡単な説明や、グラフなどの作図をさせる問題も出題する場合もある。

2. 出題分野・問題数・配点

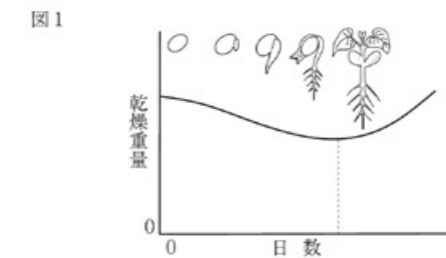
- 2/1入試 ①実験正誤・グラフ…小問4(6点) ②地学・天文…小問3(6点) ③生物・植物…小問5(10点)  
 ④化学・気体の発生…小問5(10点) ⑤物理・光…小問4(8点) ⑥総合…小問5(10点)  
 2/2入試 ①実験正誤・グラフ…小問5(7点) ②生物・消化…小問5(11点)  
 ③物理・滑車…小問5(10点) ④化学・水溶液…小問5(11点) ⑤地学・天文…小問5(11点)

3. 結果(平均点(50点満点)・大問別正答率)

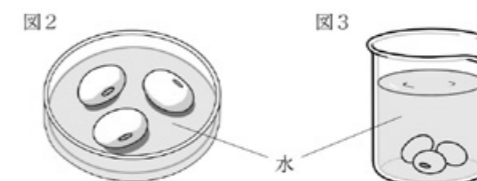
2/1入試 全体平均点 26.4点 合格者平均点 30.4点 ①60.5% ②48.6% ③61.7% ④71.9% ⑤32.7% ⑥38.9%  
 2/2入試 全体平均点 25.3点 合格者平均点 29.1点 ①46.1% ②39.8% ③68.3% ④54.5% ⑤44.3%

4. 出題例

③ 図1は、インゲンマメの種子が発芽して成長するようすのスケッチと、一日ごとの乾燥重量をグラフにまとめたものです。これについて後の各問いに答えなさい。なお、乾燥重量とは生物のからだから水分を除いて乾燥させたときの重量のことです。



- (1) 図1の点線の日まで、種子の乾燥重量は少しずつ減少しています。その理由として最も適切なものを次から1つ選び、記号で書きなさい。  
 A. 種子からの蒸散がおきたから。  
 B. 発芽するために種子の中の栄養分を分解して使ったから。  
 C. 種子の中の栄養分が、根から外部に逃げていったから。  
 D. 種子が吸収した二酸化炭素の量より、発生した酸素の量が多かったから。  
 (2) インゲンマメは、発芽するときに必要な栄養分をどこに蓄えていますか。次から1つ選び、記号で書きなさい。  
 A. 根 B. はい乳 C. 子葉 D. はい珠  
 (3) 図1の点線の日から、種子の乾燥重量は少しずつ増加しています。その理由を植物のはたらきをふまえて簡単に説明しなさい。  
 (4) インゲンマメと同じ根や葉のつくりをもつ植物を次からすべて選び、記号で書きなさい。  
 A. アサガオ B. ユリ C. ツユクサ D. ダイズ E. イネ  
 (5) 室温が20℃の部屋でインゲンマメを発芽させる実験を行いました。図2のように水に浸すと発芽しましたが、図3のように完全に水に沈めるとほとんど発芽しませんでした。図3の実験で発芽しなかった理由を簡単に説明しなさい。



# Q&A

**Q1** 複数回受験での優遇措置はどのようなものですか。

**A1** 繰り上げ合格は、複数回受験の方を対象としています(出願のみは不可)。ただし、帰国生入試は複数回受験に含めますが、他の日程での得点だけが繰り上げの対象となります。

**Q2** 繰上合格者は何人くらい出るのでしょうか。また繰上合格者への連絡方法はどのようになっていますか。

**A2** 手続き状況によりますので、年度によって違いがあります。P30をご参照ください。繰上合格が出る場合の連絡は、一人ずつ確認がとれるまで電話で行います。そのため、出願に際しては携帯電話など自宅以外の連絡先も登録していただきます。

**Q3** 他校との併願の場合、入学手続きを2回に分けたり、その発表日まで待つような制度はありますか。

**A3** 1次手続き、2次手続きの制度はなく、2/3午後2科入試を除いて基本的にどの入試日程も、入学手続きは2月4日です。ただし、帰国生入試は入試翌日・翌々日でも手続きができるようになっています。なお、2/3午後2科入試の入学手続きは2月5日です。

**Q4** 出願の際、調査書などの必要な書類はありますか。

**A4** 2月入試(2/1・2/2・2/3のすべての日程)では必要ありません。すべてインターネット上での入力によって出願することができます。ただし、帰国生入試においては、「海外在留証明書」(所定用紙)や「成績証明書」(海外の最終成績のコピー)が必要となります。提出方法などの詳細については、募集要項やHPをご確認ください。

**Q5** 算数を苦手としているのですが、教科による足切りはありますか。

**A5** 算数に限らず、科目ごとの基準点は設けていません。いわゆる足切りは行わず、合計点をもとに選考します。苦手な科目があっても、ある程度他の科目でカバーすることが可能です。

**Q6** 受験に向けて、どんな勉強をすればよいのでしょうか。

**A6** 本校の入試問題はあくまで基礎基本重視で、難問奇問の類は出題しないようにしています。国語であれば漢字・語句、算数であれば計算や一行題など基本的な知識や学力を積み重ねておいてください。また、理科・社会は幅広い分野から出題されますので、苦手分野であっても、最低限の基礎知識は身につけておくことでよいでしょう。類題が出ることもありますので、別日程も含めて過去問の研究も有効です。

**Q7** 2/1・2/2入試と2/3午後2科入試の違いは何ですか。

**A7** 2/3の試験は国・算の2科です。問題レベルは2/1入試・2/2入試と同程度を予定しています。科目数が少ない分、じっくりと問題に取り組んでもらえるよう試験時間を50分としています。英検取得級も加味しますが、英検級の加点がなくとも国・算の得点で十分カバー可能です。2/3午後2科入試に特化した対策は想定していません。基礎学力をしっかり養ってください。

**Q8** 海外帰国生入試の「資格」と「試験科目」を教えてください。

**A8** 資格は原則として「海外在住1年以上」で、「帰国後3年以内」です。試験科目は、国語と算数で、2月入試と形式や傾向は同様ですが、難易度はやや下がります。また、英語外部検定試験の資格により加点する制度もあります。

**Q9** 帰国生に関する、受験や入学後における特別な扱いはありますか。

**A9** 国際クラスを設けるなどはありませんが、すでに英語などで一定の実力を有している生徒がその力をさらに伸ばせるよう、随所で配慮・準備を図っています。英会話や英語の授業では、少人数制の習熟度別授業を実施します。さらに放課後にランゲージスクエアを活用しての英会話のスキルアップを行っています。

また、チューターを利用した苦手科目のフォローアップも受けられます。入学後の転校・復学についてはP22 Q12をご覧ください。

**Q10** 複数の日程で受験する場合、検定料はどのようになりますか。

**A10** 2月入試(2/1・2/2・2/3)において、1回のみ出願は25,000円、2回分の同時出願は40,000円、3回分の同時出願は50,000円です。複数回同時出願者で、2/1・2/2入試に合格し、手続きした場合には、合格により以後受験しなかった入試の検定料が返金されます。



**【PTA活動】**

本校のPTAは、在学生徒の保護者と教職員から組織されています。学級PTAは中学で年3回、高校で年2回程度開催され、担任やクラスの親睦を深めます。またPTA文化部・生活部・広報部の企画による様々な行事が催されます。

●委員

委員は、各クラスから常任委員1名、委員2名が選出されます。「6年間で必ず1回」などのルールはありません。来校は土曜日中心で、回数もそれほど多くないので、お仕事をされている方でもお引き受け頂いています。

●構成

次の3部で活動しており、活動内容例は以下の通りです。

**文化部**：生徒・会員の教養を高める行事の実施

活動例 … 鳩山会館訪問と親睦会

観劇会

大使館での文化交流と親睦会

**生活部**：生徒・会員の福利厚生、並びに健康・安全増進を図る企画の実施

活動例 … 校内緑化運動(玄関・トイレの花飾りなど)

**広報部**：機関紙の編集発行、学校説明会のお手伝い

活動例 … 機関紙「沈丁花」編集発行

共立祭・オープンキャンパス・学校説明会のお手伝い



文化部(鳩山会館訪問)



生活部(校内緑化運動)



広報部(説明会相談コーナー)



学級PTA



防災訓練

**【保護者向け華道入門講座】**

本校の教育を実感して頂くため、保護者向けに池坊の入門講座を土曜午前が開講しています。

**【安全管理】**

本校では安心してご子女に通っていただけるように、学園で防災センターを設け365日24時間体制で警備員を配置して生徒の安全確保に努めています。校内にはAED(自動体外式除細動器)を5台設置し、不慮の事故にも備えています。

防災備蓄に関しては、非常食、水、生理用品、テント、防寒用レスキューシート、毛布、簡易トイレを3日分用意しています。耐震性についても、2000年度から補強を重ねていたため、東日本大震災においても構造的な被害はほとんどありませんでした。

また、生徒に対してはHR活動での指導、防災訓練などを通じ、防災意識啓発を高めるよう心がけています。

**【ご家庭との連絡】**

欠席・遅刻については、スマートフォン等で入力できる「BLEND」を導入しており、移動中やお仕事先からでも簡単にご連絡頂けます。自然災害や不測の事態に関しては、「緊急お知らせメール配信システム」でお知らせします。

学校からの様々なお知らせについては、プリント・刊行物だけでなくデジタルツールを通じてお届けします。また、ホームページやInstagram等でも教育活動の一端をご覧頂けます。

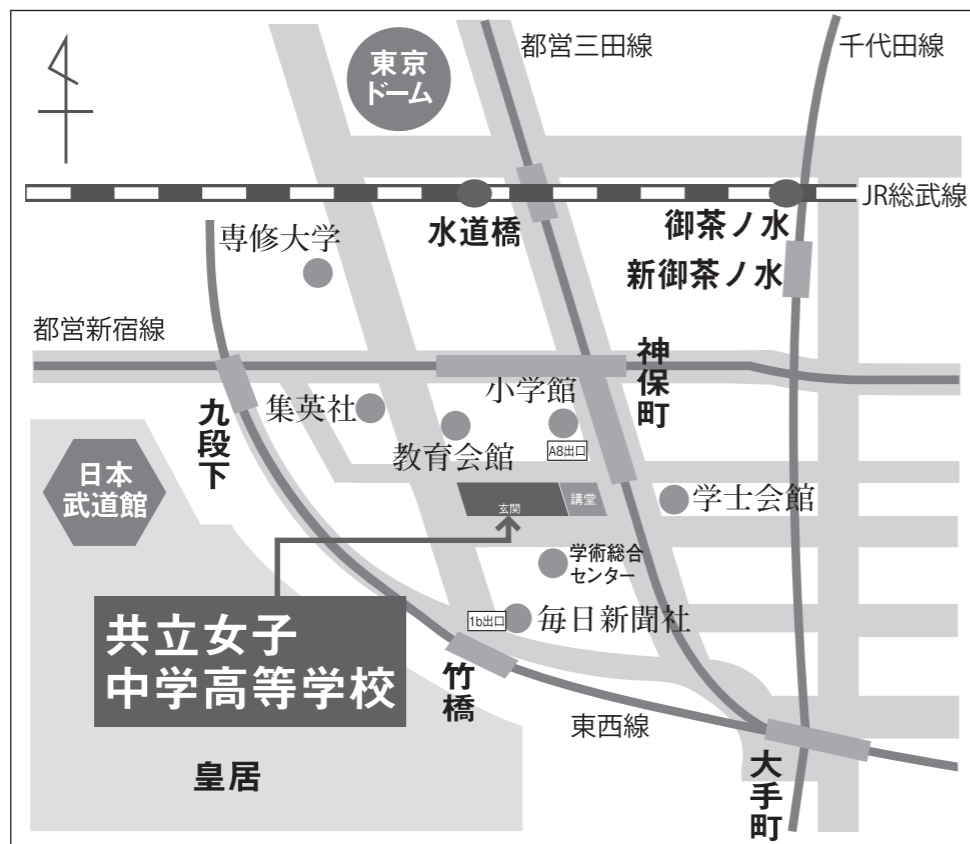
なお、別途「登下校情報メール配信サービス」をお申し込み頂くと、登下校の時間がリアルタイムでメールにて届きます(年間 3,960円、初年度のみ 4,730円)。

●中学生の住所分布(中学生徒数1000名)(2026年4月)



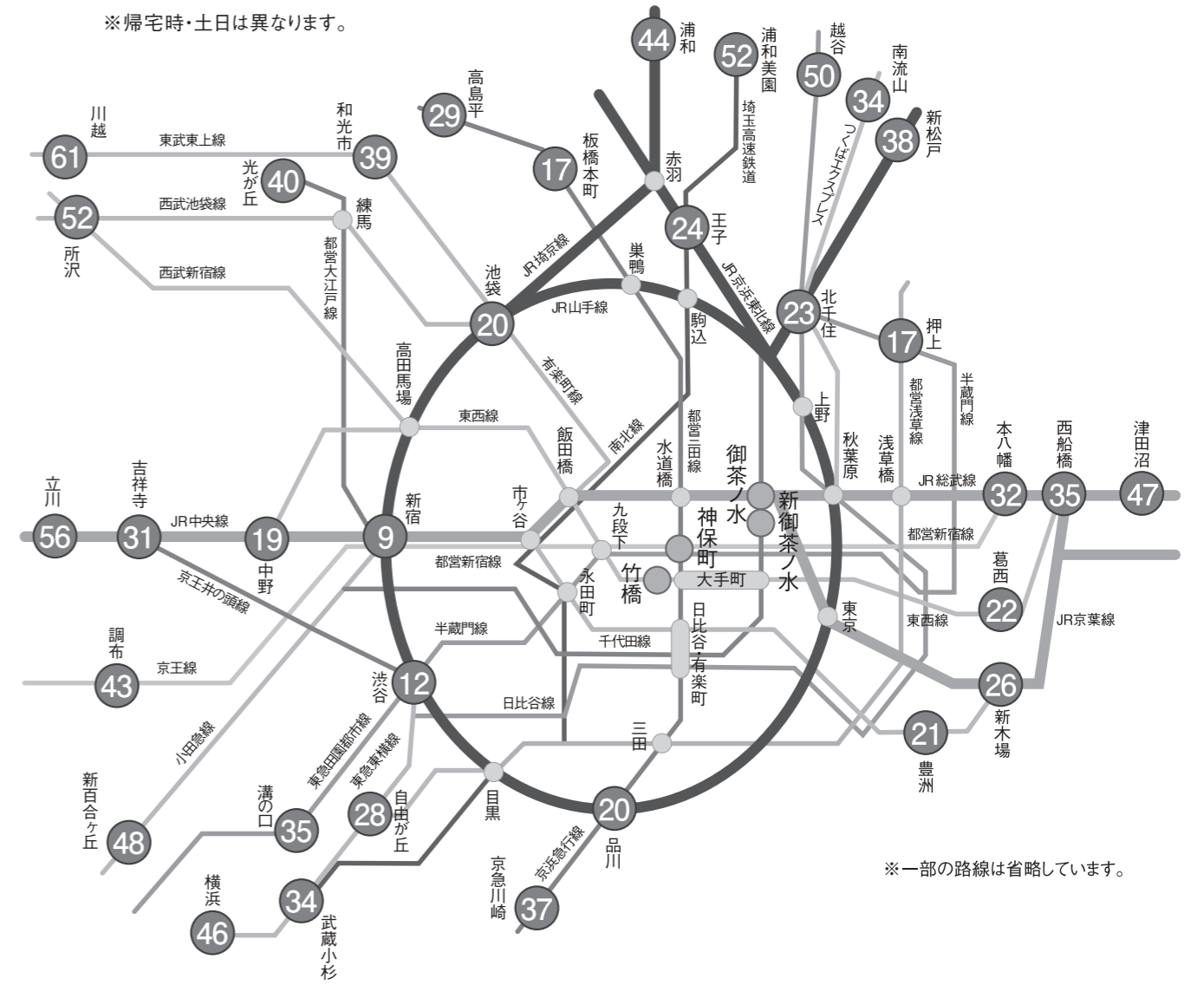
●学園周辺地図

[学校所在地]  
千代田区一ツ橋2-2-1



●最寄り駅(神保町・竹橋・新御茶ノ水)までの登校時(平日朝)所要時間の目安

※帰宅時・土日は異なります。



●最寄り駅から本校までの所要時間

- ★ 地下鉄都営三田線・新宿線・半蔵門線「神保町駅」徒歩3分
- ★ 地下鉄東西線「竹橋駅」徒歩5分
- ★ 地下鉄千代田線「新御茶ノ水駅」徒歩12分

※ 所要時間には乗り降り・乗り換え等の時間を含みます。  
※ 所要時間は時間帯・歩く速さ等により異なります。

■首都圏主要駅から本校最寄り駅までの所要時間と交通

- ・渋谷←<地下鉄半蔵門線>→神保町 14分
- ・新宿←<都営新宿線>→神保町 9分
- ・池袋←<JR山手線>→巣鴨←<都営三田線>→神保町 20分
- ・中野←<地下鉄東西線>→竹橋 19分
- ・立川←<JR中央線快速>→中野←<地下鉄東西線>→竹橋 56分
- ・調布←<京王線・都営新宿線>→神保町 43分
- ・武蔵小杉←<東急目黒線・都営三田線または東急東横線・地下鉄半蔵門線>→神保町 34分
- ・溝の口←<東急田園都市線・地下鉄半蔵門線>→神保町 35分
- ・新百合ヶ丘←<小田急線・都営新宿線>→神保町 48分
- ・横浜←<J東急東横線>→渋谷←<地下鉄半蔵門線>→神保町 46分
- ・西船橋←<地下鉄東西線>→竹橋 25分
- ・新松戸←<JR常磐線・地下鉄千代田線>→新御茶ノ水 38分
- ・南流山←<つくばエクスプレス>→北千住←<地下鉄千代田線>→新御茶ノ水 34分
- ・浦和←<JR常磐線>→池袋←<JR山手線>→巣鴨←<都営三田線>→神保町 44分
- ・浦和美園←<埼玉高速鉄道・地下鉄南北線>→市ヶ谷←<都営新宿線>→神保町 52分
- ・所沢←<西武池袋線>→池袋←<地下鉄有楽町線>→市ヶ谷←<都営新宿線>→神保町 52分
- ・川越←<東武東上線・地下鉄有楽町線>→市ヶ谷←<都営新宿線>→神保町 61分





イベントの詳細につきましては、  
ホームページにてご確認の上、お申し込みください。  
また、入試については募集要項をご確認願います。



夏のオープンキャンパス

7/19(日) 予約制  
午前のみ / 4~6年生対象

共立祭(文化祭) 10/24(土)・25(日) 予約制

冬のオープンキャンパス

12/20(日) 予約制  
午前のみ / 4~6年生対象

一般入試日程

試験名	2/1入試	2/2入試	2/3午後 2科入試
入学試験	4科型	4科型	2科型(国・算)★
入学試験日	2月1日(月)	2月2日(火)	2月3日(水)午後

★英語外部検定試験による加点あり

帰国生入試日程

入学試験	国・算★
入学試験日	11月29日(日)

★英語外部検定試験による加点あり

[共立女子学園の校訓]



[沿革]

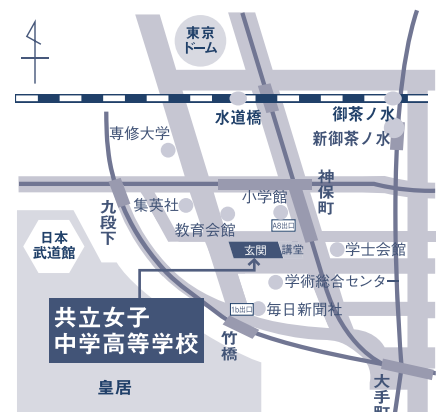
- 1886年 女性が自立し、社会人として職業に就くことを目的として、教育界の先覚者34名により共立女子職業学校設立
- 1936年 共立高等女学校設置
- 1947年 共立女子中学校設置(初代校長 鳩山 薫)
- 1948年 共立女子高等学校設置
- 1986年 共立女子学園 創立100周年
- 2005年 中高新校舎高校エリア完成
- 2006年 中高新校舎中学エリア完成、高等学校からの生徒募集停止(6年完全一貫体制開始)
- 2016年 共立女子学園創立130周年
- 2018年 高等学校制服リニューアル
- 2025年 中高第8代校長に景山誠就任

Kyoritsu Girls' Junior & Senior High School

# 共立女子中学高等学校

〒101-8433 東京都千代田区一ツ橋2-2-1  
TEL(03)3237-2744 FAX(03)3237-2782

E-mail [chukou@kyoritsu-wu.ac.jp](mailto:chukou@kyoritsu-wu.ac.jp) <https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/chukou/>



神保町駅: 徒歩3分 竹橋駅: 徒歩5分